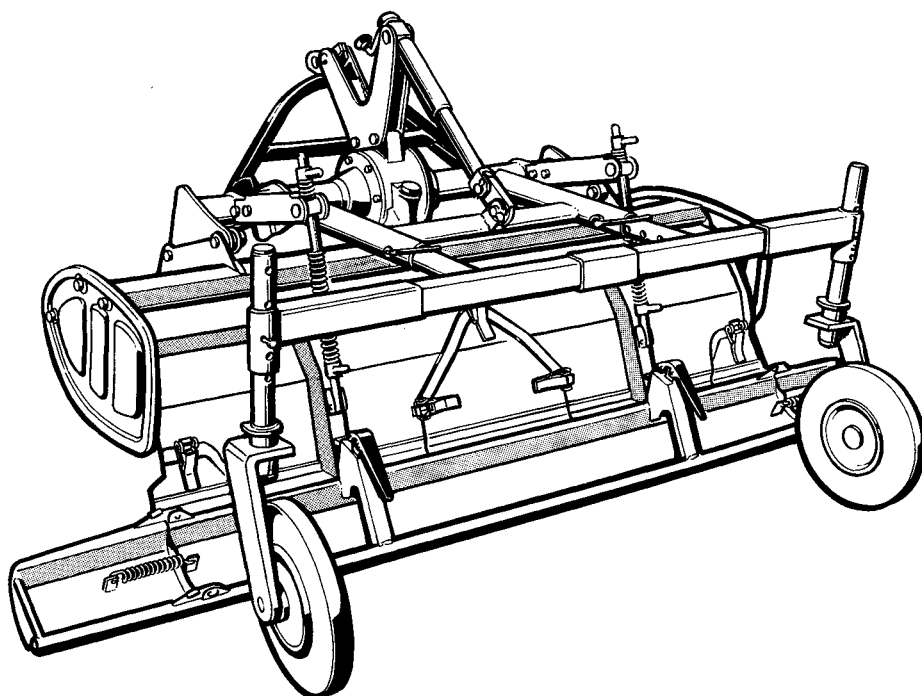
クボタロータリ

取扱説明書

R 12G 13(H)G 15G 16G

G-3687

ご使用前に必ずお読みください

Kubota

これだけはぜひ！守ってください

ロータリ作業を安全に進めていただくために，下記項目に十分ご注意ください。

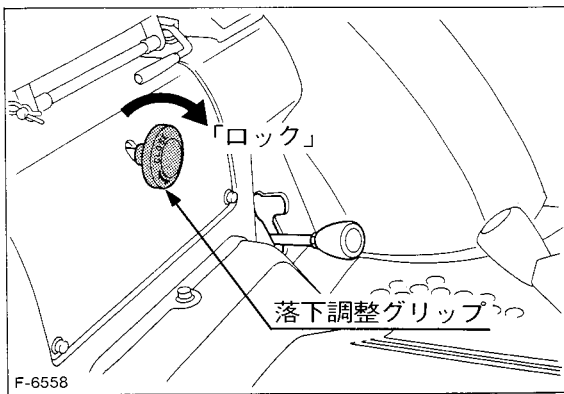
■耕うん爪の点検や交換時

(1)エンジンを停止する。
(2)ロータリの落下防止処置をする。
（下記参照）
(3)駐車ブレーキをかける。

■ロータリの着脱・調整時

(1)トラクタの後輪とロータリの間に立たない。
(2)3点リンクの止めピンやユニバーサルジョイントのロックピンが確実にセットされていることを確認する。

■ロータリの落下防止方法

落下調整グリップを右にいっぱい回して，油圧をロックしてください。

■運転時

(1)爪軸やユニバーサルジョイントなど回転部分には手を近づけない。
(2)ロータリの上に人を乗せない。
(3)ロータリの持上げ，バック及び急旋回のときは周囲の安全の確認を行なう。
(4)傾斜地やあぜを登るときは，ロータリを下げて前上りを防ぐ。
(5)高低差の大きいほ場への出入りは，転倒の恐れがあるので，必ずアユミ板を使用し，低速で行なう。
(6)耕うん中，硬いほ場でトラクタが前に飛出した場合，すぐクラッチを切り，ブレーキを踏んでください。次により遅い車速に変速し，爪軸回転を上げて耕うんし，飛出しが起こらないように作業する。（４輪駆動のトラクタでは，４駆を「入」にするとより効果があります。）

はじめに

このたびは本製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は，製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

よくお読みいただいたうえ，いつまでもすぐれた性能を発揮できるよう本書を十分にいかして，末長くご活用ください。

なお，本製品については不断の研究成果を新しい技術として，ただちに製品に取り入れておりますので，お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので，あらかじめご了承ください。

本書では仕様の異なる製品を次のように表示しています。

●標準タイプ………一般向け（Aフレーム付）
　　　　　　　　　（R12G，R13G，R15G，R16G）

●Hタイプ…………ハウス仕様（R13HG）

●カバータイプ

　・STカバー………畝立機用長穴カバー付

　・STVカバー……Vカットカバー付

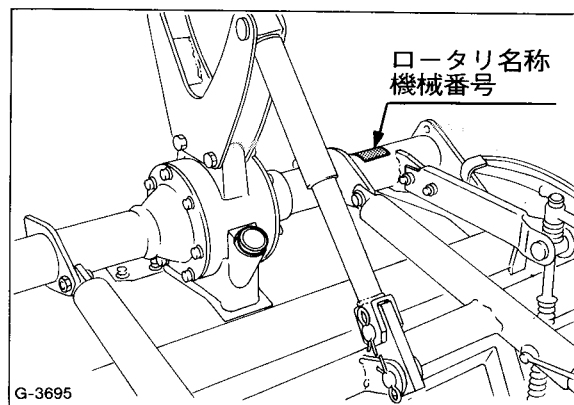
お手元の製品の仕様をお確めの上，お間違いのないようご活用ください。

※表紙のイラストはR15G-STVモデルを示しています。

70186-5991-3

目次

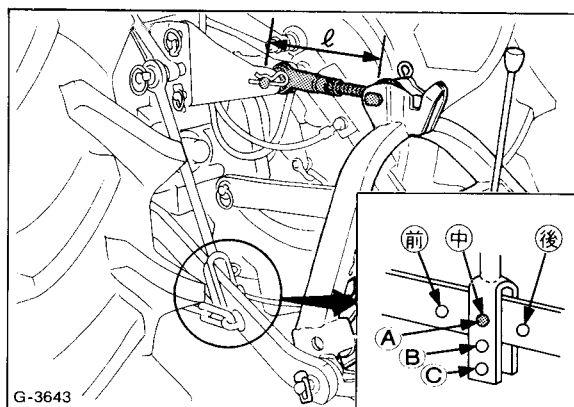
サービスと保証について

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスに関するご用命は，お買いあげいただいた販売店・農協・弊社支店又は㈱クボタアグリに，それぞれ「ご相談窓口」を設けておりますのでお気軽にご相談ください。そのさい，ロータリ名称と機械番号をご連絡ください。

ロータリの取付け方

取付け前の準備

⑴補助ユニット(トップリンクサポート，トップリンクなど)が，装着されているかを確認してください。装着されていないときは，「トップリンクサポートの取付け」の項を参照の上，装着してください。

⑵装着するトラクタにより，トップリンク長さが異なりますので，下図と次ページの表，又はトップリンクサポートに貼付けてある，ラベルを参照の上，点検・調整してください。

注意

⑴リフトロッドの取付け穴Ⓒは，L_1-195，L_1-215，L_1-295，L_1-315にはありません。

⑵ロアーリンク取付け穴㊥は，L_1-275，L_1-295，L_1-315にはありません。

⑶トップリンクの長さは，標準セット時の寸法を表示しております。

■ロータリの取付け方法と適応形式
(この表は一般的な組合わせを示しています。)

トラクタ形式	GL19	GL21	GL23	GL23DJ	GL25	GL25K	GL26	GL27	GL27DJ	GL29	GL32	GL33
ロータリ形式	R12G, R13G, R15G											
						R13HG						
取付け方法				R16G								
補助ユニット スーパージョイント付	U195Q-6RF			U255Q-6RF		U255KQ-6RF	U255Q-6RF		U295Q-6RF			
補助ユニット スーパージョイント無	U195-6RF			U255-6RF		U255K-6RF	U255-6RF		U295-6RF			
トップリンク長さ“ℓ”寸法(mm)	230			240								
リフトロッド左，右の取付穴	Ⓐ					Ⓑ	Ⓐ					
ロアーリンク取付穴	㊥					(後)	㊥					
付加ウエイト(前部ウエイトアッシ28kg 99221-1200-1)	必要		必要☆	不要								

☆：延長付に不要。

■参考[NL_1-5トラクタに装備する場合]

トラクタ形式	L_1-195	L_1-215	L_1-235	L_1-255	L_1-275	L_1-295	L_1-315	L_1-325
ロータリ形式	R12G, R13(H)G, R15G							
取付け方法				R16G				
補助ユニット スーパージョイント付	——							
補助ユニット スーパージョイント無	U195-5RF				U275-5RF	U295-5RF		
トップリンク長さ“L”寸法(mm)	230		220		230	250		
リフトロッド左，右の取付穴	Ⓐ			Ⓑ		Ⓐ		
ロアーリンク取付穴	㊥				(後)			
付加ウエイト30kg(34670-1304-2)	必要				不要			

[製品コード]

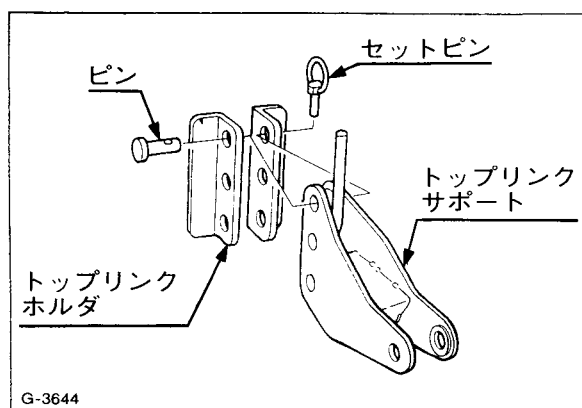
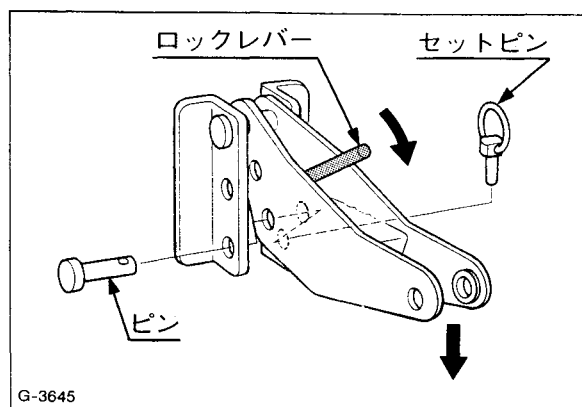
製品名	コードNo.
R12WG-ST	70192-00010
R12WG-STV	70192-00020
R13W2G-ST	70193-00010
R13W2G-STV	70193-00020
R15G-ST	70185-00010
R15G-STV	70185-00020
R15G-STW	70185-00014
R15G-STVW	70185-00024
R15G-STW2	70185-00017
R15G-STVW2	70185-00027
R16G-ST	70186-00010
R16G-STV	70186-00020
R16G-STW	70186-00014
R16G-STVW	70186-00024
R16G-STW2	70186-00017
R16G-STVW2	70186-00027
R13HW2G-ST	70191-00010

[補助ユニット]

製品名	コードNo.
U195-6RF	70888-01000
U195Q-6RF	70888-02000
U255-6RF	70888-03000
U255Q-6RF	70888-04000
U295-6RF	70888-05000
U295Q-6RF	70888-06000
U255K-6RF	70888-07000
U255KQ-6RF	70888-08000

トップリンクサポートの取付け（補助ユニット関連部品）

■取付け方

❶トップリンクホルダの上穴と，トップリンクサポートの上穴をピンで取付け，セットピンで抜け止めをしてください。（トップリンクサポートの上下を間違わないよう，ラベルの方向，又は補助ユニット一覧表を参照して取付けてください。）

❷ロックレバーを手前に引き，トップリンクホルダの下穴と，トップリンクサポートの下穴をピンで取付け，セットピンで抜け止めをしてください。

❸ロックレバーを前方に戻し，確実にロックしてください。

■取外し方

取付け順序の逆に行なってください。

トラクタへの装着

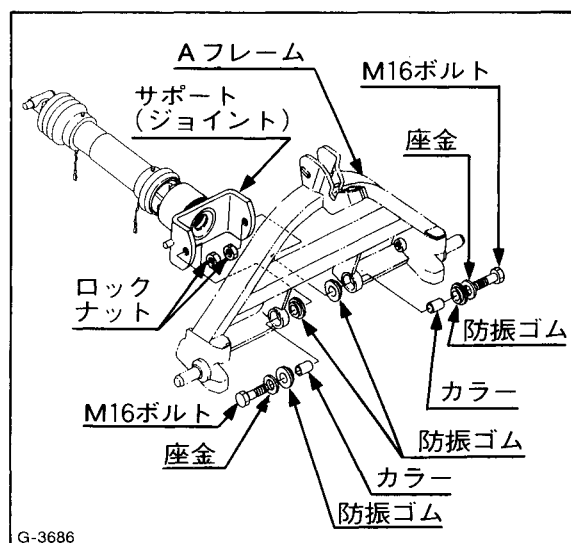
安全ポイント

- ロータリの取付け・取外しは，平たんな場所を選び，トラクタとロータリの間に立たないようにしましょう。

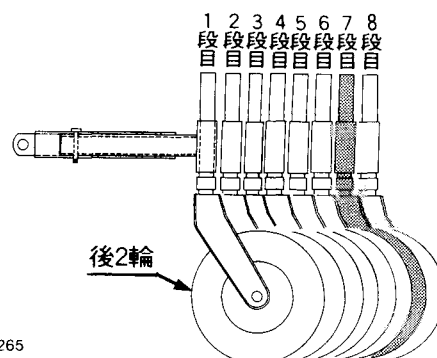
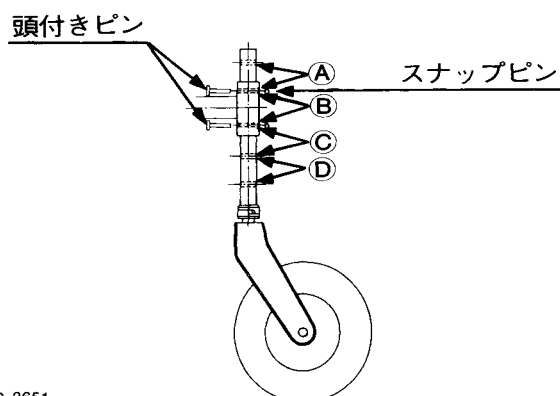
▶もし怠ると………
傷害事故を引起すことがあります。

■装着前の準備

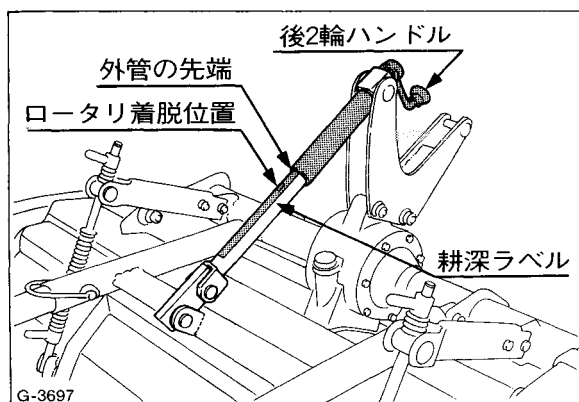
◆スーパージョイントの組付け

スーパージョイント仕様の場合，まずサポート（ジョイント）をAフレームに取付けます。ジョイントサポートの取付け穴に，付属のカラー，防振ゴムを入れ，M16ボルトで締付け，さらにロックナットで固定してください。（両側２箇所）

◆後２輪を調整して，ロータリを着脱姿勢にしてください。

(1)後２輪の前後方向の位置は７段目にセットしてください。

〔前後位置〕

上下位置はⒷの位置にセットしてください。
大径爪(556号爪)がセットされている場合はⒶの位置にセットしてください。
〔上下位置〕

(2)ロータリの後２輪ハンドルを回し，外管の先端を内管に貼ってある，ラベルの「**ロータリ着脱位置**」の範囲に合せてください。

注意

●**後２輪ハンドルは，操作後，下の位置にセットしてください。**

■取付け方

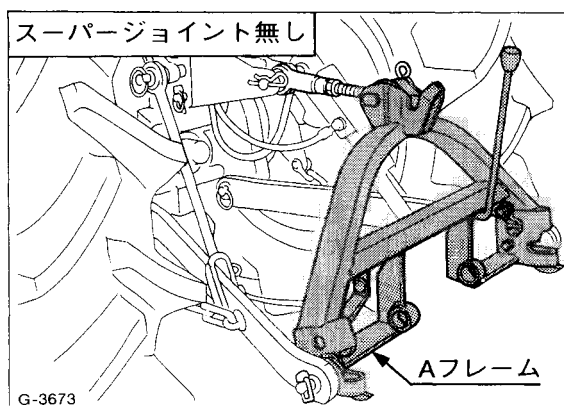
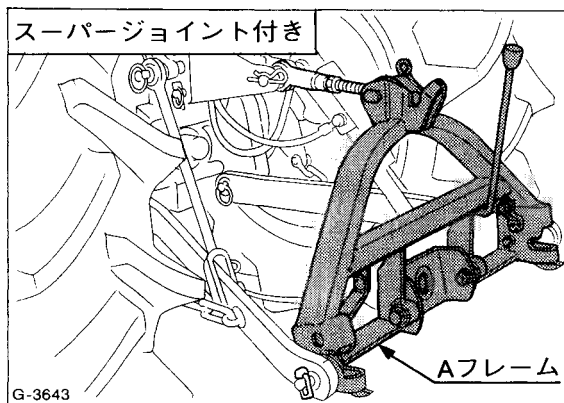
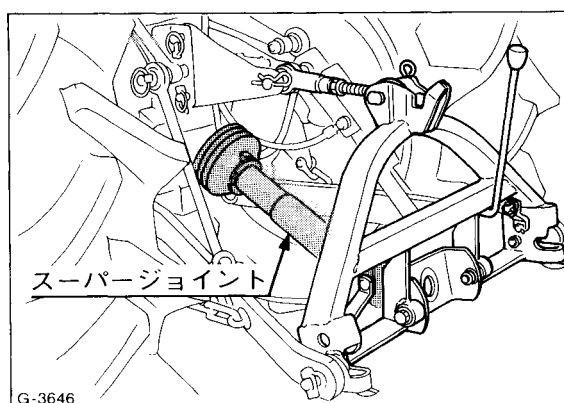
まずエンジンを止め，駐車ブレーキをかけてください。

❶ロアーリンクとリフトロッド取付け位置を確認してください。もし，異なっている場合は取付け前の準備(１ページ参照)に従って取付けてください。

注意

●**ロアーリンクとリフトロッドの取付け位置を間違うとユニバーサルジョイントが破損し傷害事故を引起すおそれがありますので，取付け位置を再確認してください。**

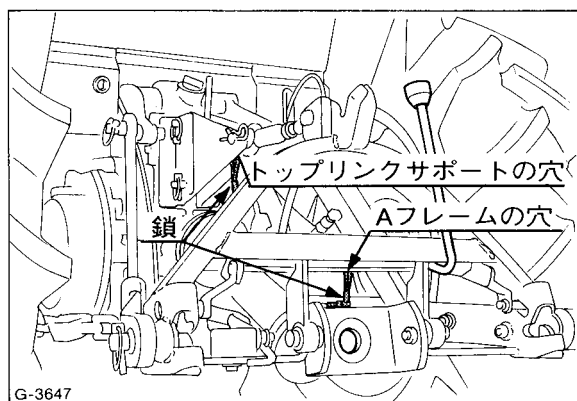
❷ロアーリンクにAフレームを取付けてください。

❸トップリンクの長さ“ℓ”を調整し(２ページ参照)，トップリンクサポートと，Aフレームの上部にそれぞれピンで取付け，セットピンで抜け止めをしてください。

❹【スーパージョイント付きのみ】
スーパージョイントを，トラクタのPTO軸に取付けてください。

注意

- スーパージョイントのロックピンが，正確に溝にはまったかどうかの確認は，ロックピンの頭が7㎜以上出ているかどうかで確認してください。

G-1574

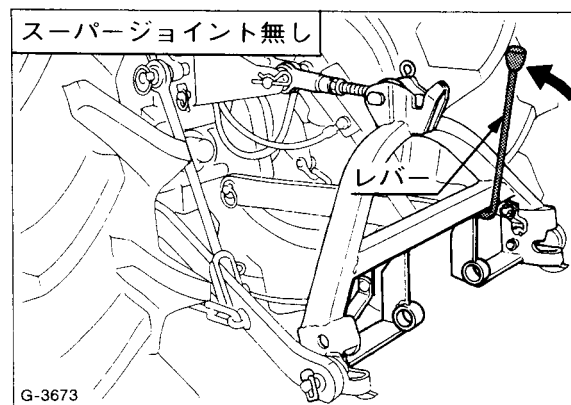
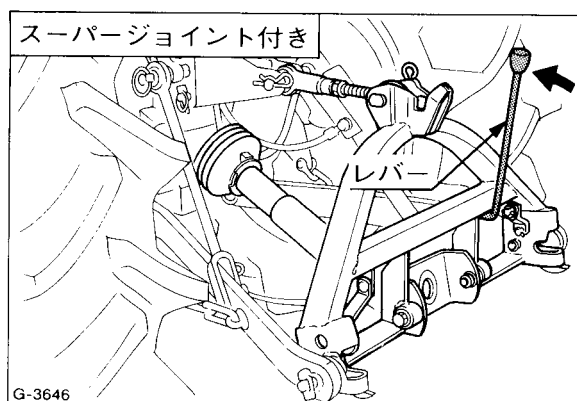
❺【スーパージョイント付きのみ】
安全カバー回転止め鎖を取付けます。
スーパージョイントの鎖を，トラクタ側はトップリンクサポートに，ロータリ側はAフレームの中央部の穴に取付けてください。

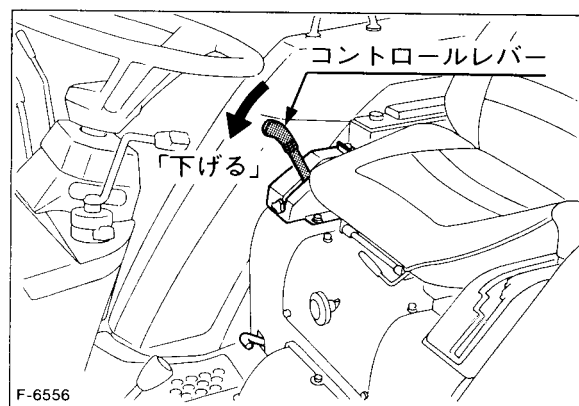
G-3647

❻ロータリの取付け姿勢を確認してください。
(3，4ページ参照)

❼【オート仕様トラクタの場合】
ロータリカバー2を最下げの位置にセットしてください。(14ページ参照)

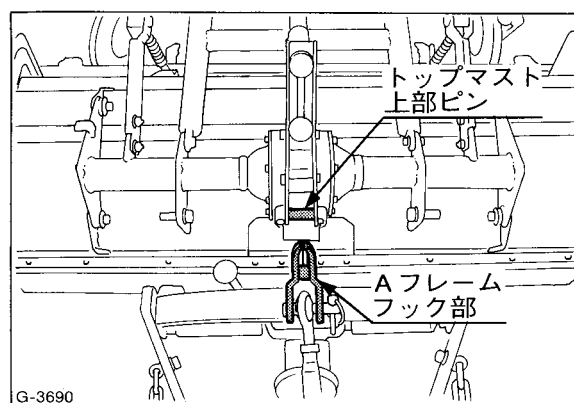
❽レバー(Aフレーム)を下図の位置にセットしてください。

G-3646

G-3673

❾トラクタに乗車して，油圧コントロールレバーを「下げ」方向に操作し，Aフレームを降ろしてください。

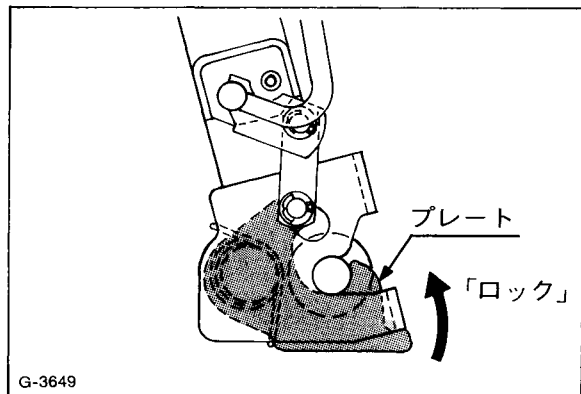
F-6556

❿Aフレームのフック部先端が，トップマスト上部ピンのやや下(1～2㎝)にくるように，ゆっくりバックしてください。

⓫油圧コントロールレバーを，ゆっくり「上げ」方向に操作し，Aフレームのフック部がトップマスト上部ピンに，確実に引掛ったことを確認してから，ロータリを吊上げてください。

G-3690

⓬Aフレームでロータリを吊上げると，ロータリは自動的にAフレームに「**ロック**」されます。

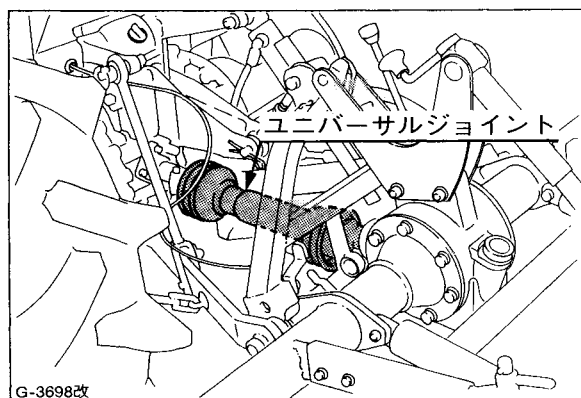
注意

- **プレート(ロック)が確実にロック状態にあるか，確認してください。**

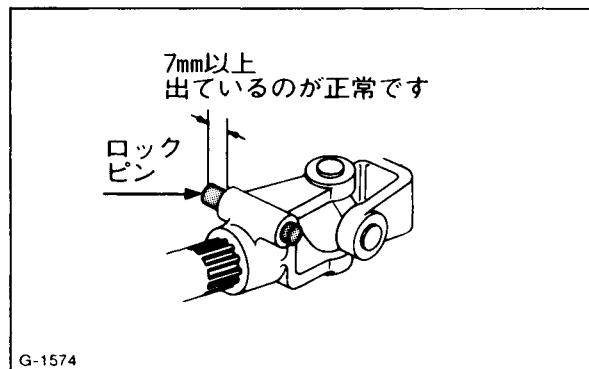
G-3649

⓭【スーパージョイント無しのみ】

ユニバーサルジョイントを取付けます。

ユニバーサルジョイントの，オス側のロックピンを指で押えて，トラクタPTO軸の横溝を越すまで差込み，次にメス側をロータリの軸に差込んで，ロックピンでロックします。そしてPTO軸側を手前に引き，ロックピンを溝に確実に入れてください。

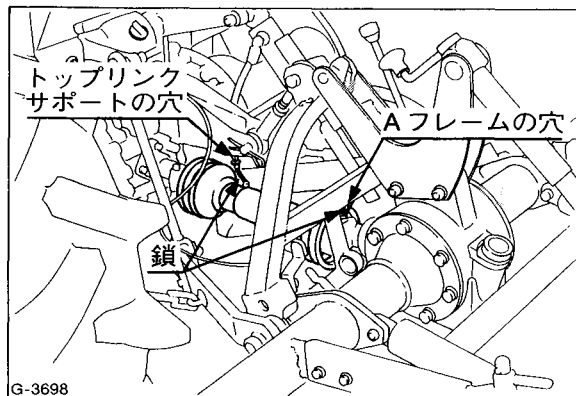
G-3698改

注意

- **ユニバーサルジョイントの取付けは，必ずオス側をトラクタ側に，メス側をロータリ側に取付けてください。**
- **ユニバーサルジョイントのロックピンが，正確に溝にはまったかどうかの確認は，ピンの頭が7mm以上出ているかどうかで確認してください。**

G-1574

⓮【スーパージョイント無しのみ】

安全カバー回転止め鎖を取付けます。

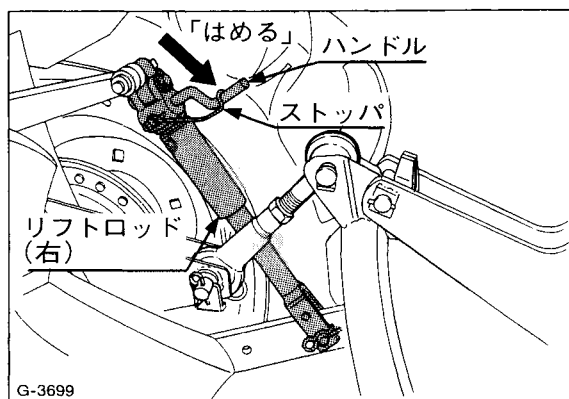
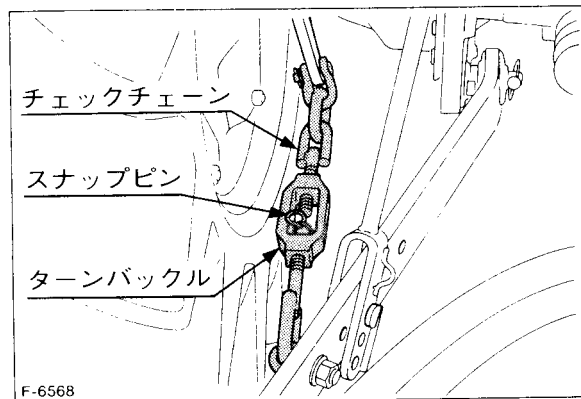
トラクタ側の鎖は，トップリンクサポートの下部取付け穴に，ロータリ側は，Aフレームの中央の穴に取付けてください。

G-3698

⓯リフトロッド(右)を調整します。

【モンローマチック付は調整不要】

トラクタのコントロールレバーで，ロータリを持上げて，ロータリの爪軸が，トラクタの車軸と平行になるように，リフトロッド「右」を回して調整してください。

調整後，リフトロッド「右」が自由に回転しないように，ストッパで固定してください。

G-3699

⓰チェックチェーンを張ります。
ユニバーサルジョイント(スーパージョイント)が，上から見て一直線になるように，チェックチェーンを左右均等に張り，スナップピンでロックして，ロータリの横振れを防止してください。

注意

- モンローマチック付の場合は，チェックチェーンを張り過ぎないよう注意してください。チェックチェーンが切れる恐れがあります。

⓱ロータリを持上げて，エンジンを止め，PTO変速レバーを「中立」にして，ユニバーサルジョイントが手で，軽く回るかを確認してください。

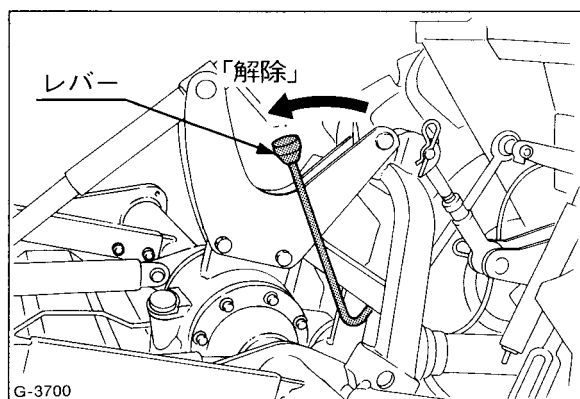
ロータリの取外し方

❶【スーパージョイント無しのみ】
ユニバーサルジョイントを取外してください。

注意

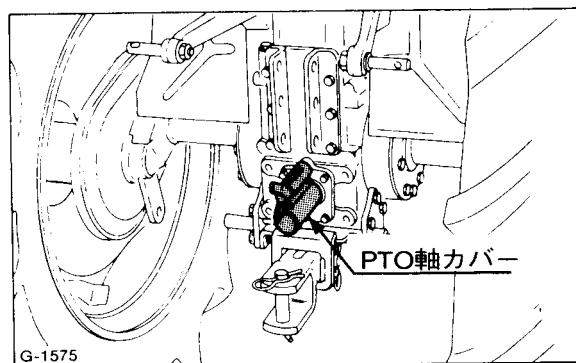
- 着脱は平らな場所で行なってください。
- ロータリの着脱時は必ず後２輪を取付けてください。

❷【オート仕様トラクタの場合】
ロータリカバー２を最下げの位置にセットしてください。(14ページ参照)

❸レバー(Aフレーム)を解除の位置にしてください。

❹ロータリを下げ，ロータリとAフレームを分離します。他は取付け順序の逆に行なってください。

安全ポイント

(1)Aフレームをロータリから外した状態で，PTO軸を回転させないでください。
▶もし守らないと……
傷害事故を引起すおそれがあります。

(2)PTO軸を使わない場合は，PTO軸カバーを取付けておきましょう。
▶カバーを取付けないと……
傷害事故を引起すおそれがあります。

(3)ロータリに寄りかかったり，乗ったりしないでください。
▶もし守らないと……
傷害事故を引起すおそれがあります。

(4)ロータリ着脱時は必ず後２輪を取付けてください。
▶もし守らないと……
傷害事故を引起すおそれがあります。

注意

- 作業終了後，長期間保管するときや洗車された後は，必ず一度ロータリを取外し，スーパージョイント側ジョイントスプライン部と，ロータリ側入力軸に，グリースを塗布してください。

標準ロータリの上手な使い方

適応作業速度

作業目的と耕作地の条件に合せて，車速を決めてください。

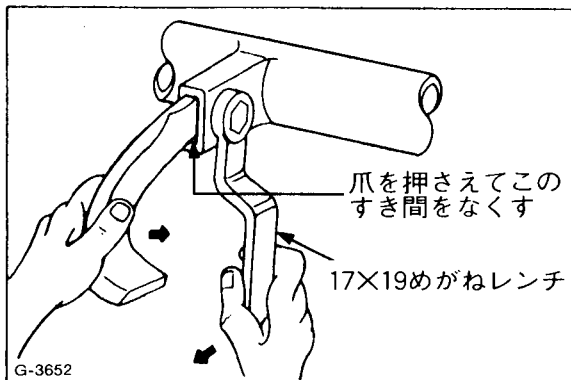
次表は，作業のめやすとして参照してください。

[標準トラクタ]

<table>
<tr><th colspan="7">変速レバー位置と作業</th></tr>
<tr><th rowspan="2">クリープ変速</th><th rowspan="2">副変速</th><th rowspan="2">主変速</th><th colspan="4">P T O 変 速</th></tr>
<tr><th>1段</th><th>2段</th><th>3段</th><th>4段</th></tr>
<tr><td>L</td><td>L</td><td>4</td><td colspan="4">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td rowspan="4">L</td><td rowspan="4">H</td><td>1</td><td colspan="2" rowspan="2">強粘土（荒耕し耕うん 畝立て）</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="2" rowspan="4">水田・畑作（荒耕し 畝立て）</td><td colspan="2" rowspan="4">水田・畑作（細土耕うん 畝立て）</td></tr>
<tr><td>4</td></tr>
<tr><td rowspan="4">H</td><td rowspan="4">L</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="4" rowspan="2">代かき</td></tr>
<tr><td>4</td></tr>
</table>

[Uシフト仕様トラクタ]

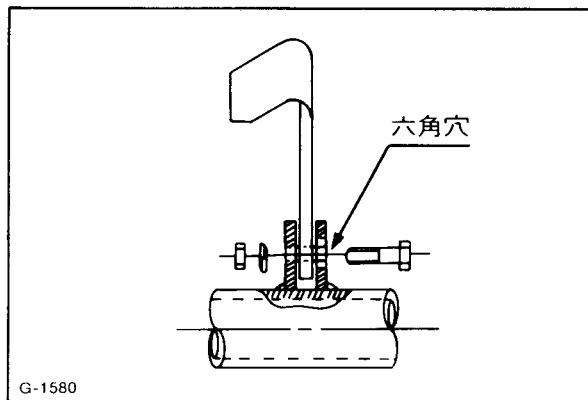
<table>
<tr><th colspan="6">変速レバー位置と作業</th></tr>
<tr><th rowspan="2">クリープ変速</th><th rowspan="2">主変速</th><th colspan="4">P T O 変 速</th></tr>
<tr><th>1段</th><th>2段</th><th>3段</th><th>4段</th></tr>
<tr><td>L</td><td>4</td><td colspan="4">超細土耕うん</td></tr>
<tr><td rowspan="4">L</td><td>5</td><td colspan="2" rowspan="2">強粘土（荒耕し耕うん 畝立て）</td><td colspan="2" rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td colspan="2" rowspan="4">水田・畑作（荒耕し 畝立て）</td><td colspan="2" rowspan="4">水田・畑作（細土耕うん 畝立て）</td></tr>
<tr><td>8</td></tr>
<tr><td rowspan="4">H</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="4" rowspan="2">代かき</td></tr>
<tr><td>4</td></tr>
</table>

なた爪の取付け方

注意

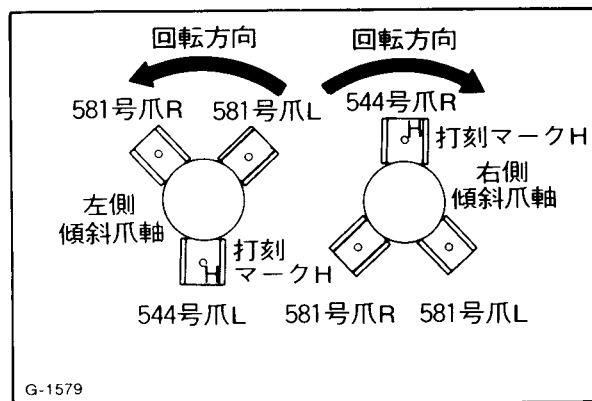
● めがねレンチで，力いっぱい締付けてください。

■爪軸

(1)ブラケットの六角穴と逆方向に，曲がりがくるようにして取付けてください。

(2)ボルトは六角穴側よりボルトを入れ，反対側よりバネ座金を入れ，ナットで締付けてください。

■傾斜爪軸

(1)"H"の刻印のあるブラケットには，544号爪を内向きに取付けてください。

(2)他のブラケットには，581号爪を下図の向きに取付けてください。

■増幅爪の取付け[R13(H)G]

サイドカバーを外し，両端の"右"または"左"の刻印のあるブラケットの爪を582号増幅爪に付換えることにより，耕幅がさらに60㎜広がります。延長を外した場合も同様に広げることができます。

	品　番
582号増幅爪右	70451－5543－3
582号増幅爪左	70451－5544－3

安全ポイント

- 爪の交換及び増締めするときは，
  - ①トラクタを平たんな広い場所に置く。
  - ②エンジンを止め，駐車ブレーキを掛ける。
  - ③ロータリの落下を防止する，落下調整グリップを，右いっぱいに軽く締込む。
  - ④爪軸の下に木の台などをし，より安全性を確保してから行なってください。

▶もし怠ると………

傷害事故を引起すことがあります。

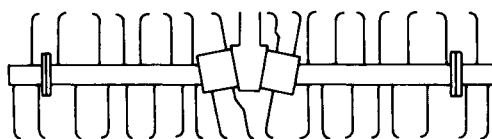
注意

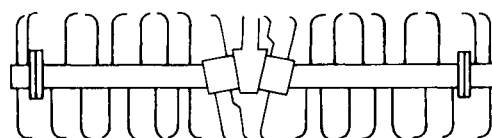
(1)爪を抜いて作業すると，爪のバランスが狂い，振動や騒音が出ることがありますので，ご注意ください。

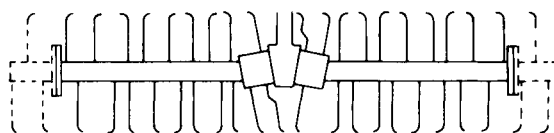
(2)耕うん爪は，クボタ純正部品を使用してください。

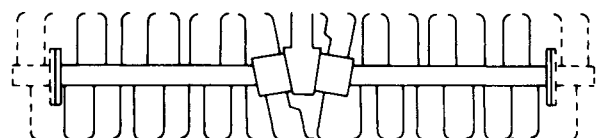
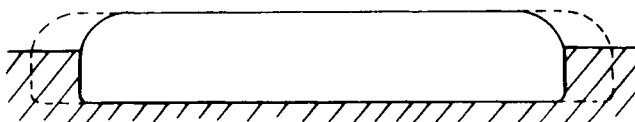
1 均平耕法（耕起・砕土・代かき・整地作業）

砕土・代かき等，耕うん跡を均平にしたいときに適します。

◆**R12G**

G-1583

◆**R13(H)G**

G-2232

◆**R15G**

G-1581

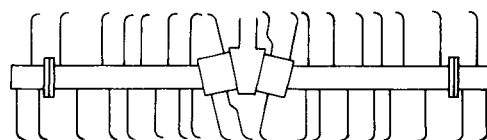
◆**R16G**

G-1582

G-1583

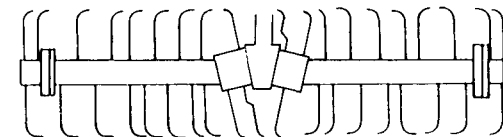
（点線は延長爪軸付きの場合を示す。）

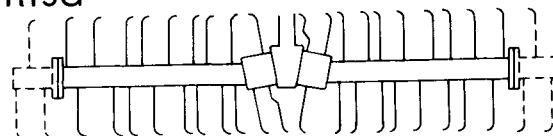
2 1つ盛り耕法（乾土効果を必要とする水田の耕起・砕土作業）

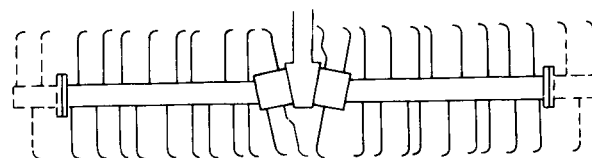
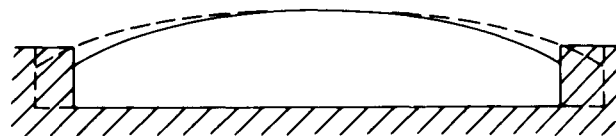
ロータリカバーを上げて，カバーが耕うんした土壌に当らないようにします。

傾斜爪軸部はそのままにして，他の爪はすべて内向きにしてください。

◆**R12G**

G-1586

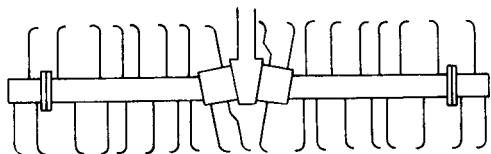
◆**R13(H)G**

G-2233

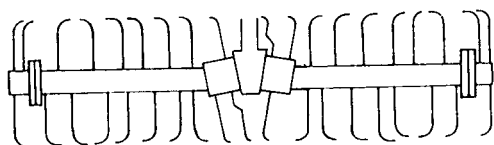
◆**R15G**

G-1584

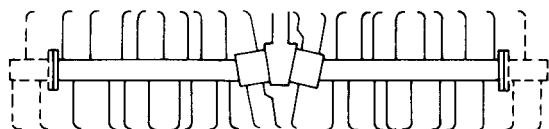
◆**R16G**

G-1585

G-1586

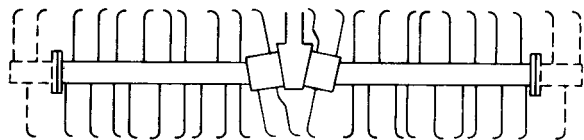
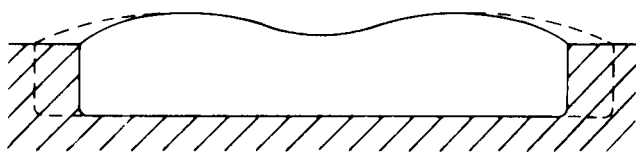
③ 2つ盛り耕法（乾土効果を必要とする水田の耕起・砕土及び1連畝立て作業）

ロータリカバーを上げて，カバーが耕うんした土壌に当らないようにします。
傾斜爪軸部はそのままにして，爪の配列を下図のようにしてください。
この配列は，1つ盛り耕起後の代かき作業にも適します。

◆R12G

G-1589

◆R13(H)G

G-2234

◆R15G

G-1587

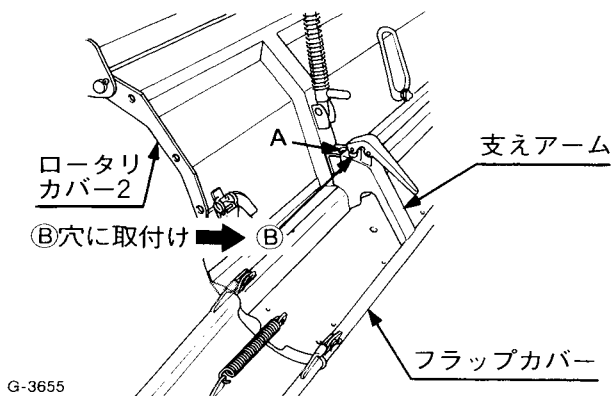
◆R16G

G-1588

G-1589

ロータリの調整

ロータリカバーの調整

■フラップカバーの使用法

作業により，下図を目安に使い分けてください。
特にオート作業時，進行方向に凹凸ができる場合は，Ⓐ穴(一番上げた位置)で使用してください。

一般耕うん作業 ―― Ⓑ穴位置。

G-3655

細土耕うん・深耕し作業 ―― 一番上げる。

G-3656

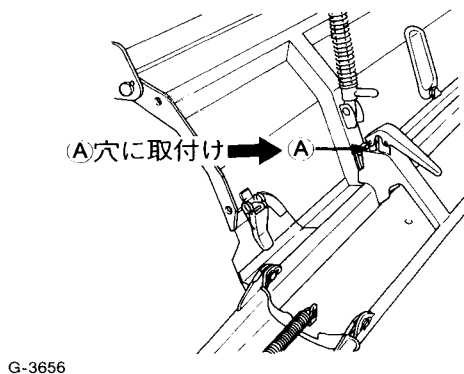
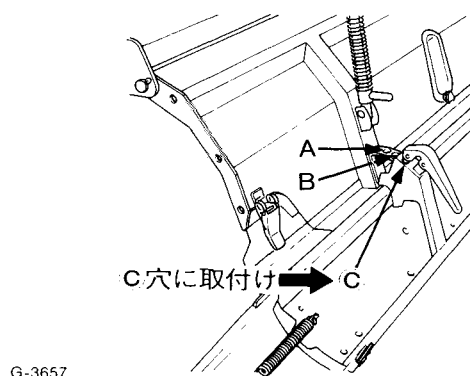
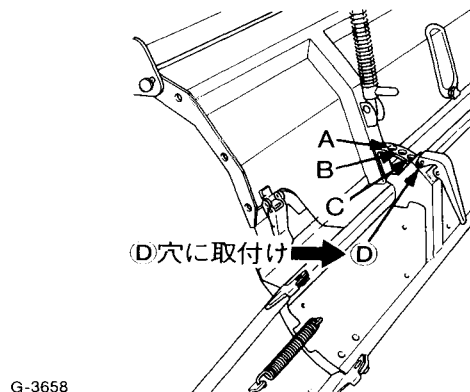
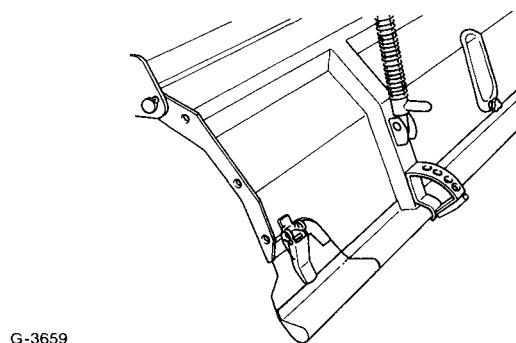
荒耕し・浅耕し・一般代かき作業 ―― Ⓒ穴位置。

G-3657

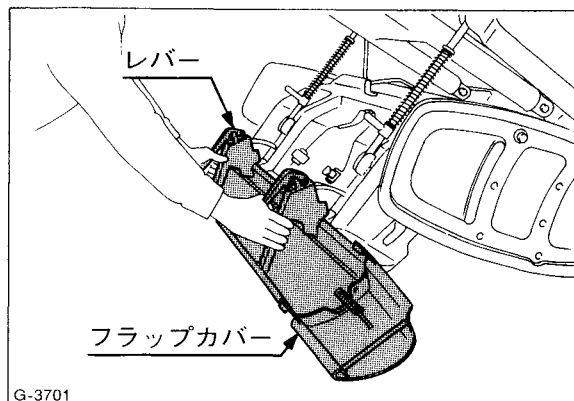
半湿田での代かき作業 ―― 一番下げる。

G-3658

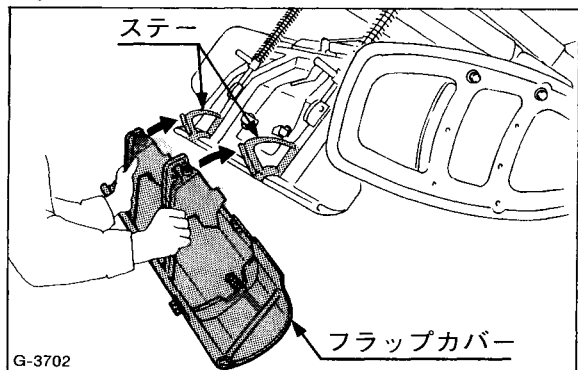
荒耕し・深耕し作業 ―― カバーを取外す。

G-3659

■フラップカバーの取外し方

フラップカバーのアーム部とレバーを握ったまま，ロータリカバー2から取外します。

G-3701

■フラップカバーの取付け方

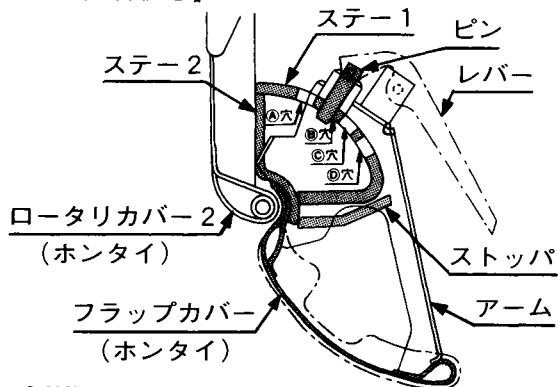
❶フラップカバーのアーム部とレバーを握ったまま，フラップカバー(ホンタイ)をロータリカバー2(ホンタイ)とステー2の間に差込んでください。

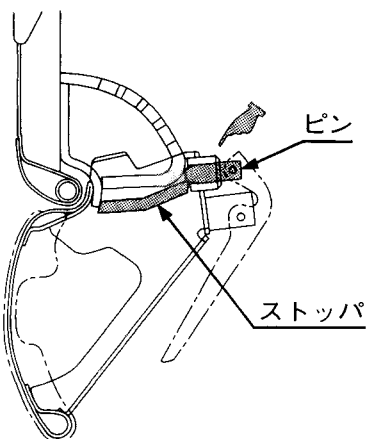
G-3702

❷上記の状態で，握ったレバーのピンが，ステー1の4つの穴(A，B，C，D)のいずれかに確実に挿入される位置でレバーをはなしてください。

注意

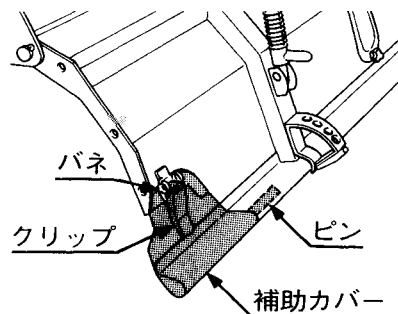
●ピンが確実に挿入されていることを確認してください。

【正しい装着状態】

G-3827

【誤った装着状態】

ピンがステー1の4つの穴のいずれにも挿入されずにストッパの上に乗っているとフラップカバーが落下することがあります。ピンが確実に穴に挿入されるように正しく装着してください。

G-3828

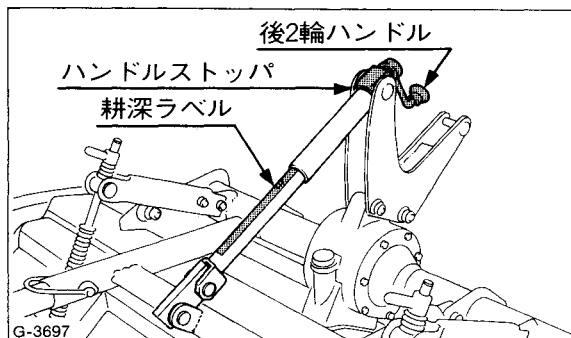
■補助カバーR・Lの取外し方

後2輪併用で枕地を少なくする，又は片培土作業をするため，補助カバーを取外す場合は，クリップを引上げ，補助カバーを取付けているバネをロータリカバー2のかけ金具から取外してください。

G-3659

■ロータリカバーを持上げて使用する場合 [モンローマチックオート付トラクタ]

荒耕し・極深耕し・培土作業等で，カバーを持上げて使用する場合は，オート機能が発揮出来ませんので，後2輪を使用してください。

耕深の調整 (後2輪を使用する場合)

後2輪ハンドルを回すことにより，耕深を自由に選ぶことができます。また耕うん深さ調整の目安として，耕深ラベルの目盛りをご使用ください。

G-3697

注意

●後2輪ハンドル操作後は、下の位置にセットしてください。

安全ポイント

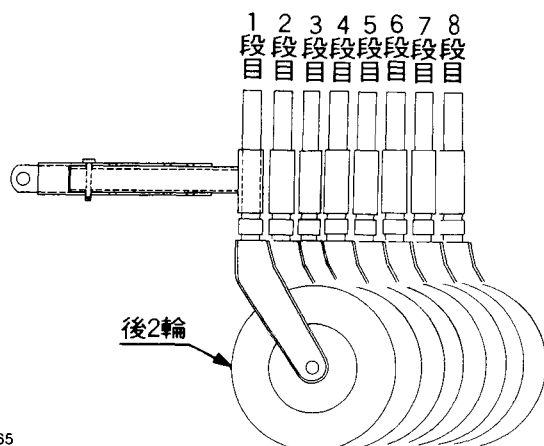
●トラクタを前進させながらの耕深調整は，絶対にさけてください。
もし側方及び前方から調整する場合は，トラクタを止めてから行なってください。
▶もし怠ると………
傷害事故を引起すことがあります。

後２輪の調整

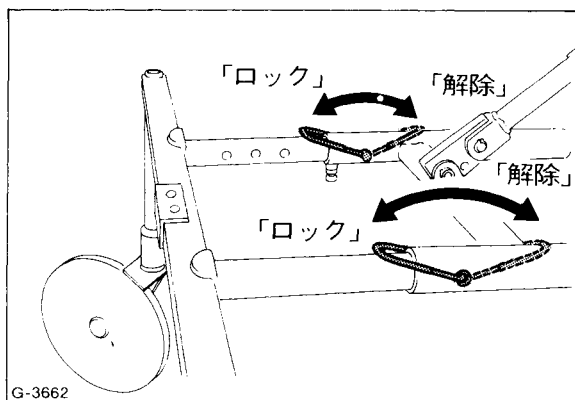
後2輪は前後方向に８段階，上下方向に４段階の調節ができますので，作業に合せて調整してください。

■後２輪ホルダの前後調整

作業により次のように調整してください。

後2輪無し	培土作業	STカバー機	１段目
		STVカバー機	2・3段目
後2輪使用	一般耕うん作業（12cm以下）	フラップカバー無し 補助カバー付	４段目
		フラップカバー付 補助カバー付	６段目
	フラップカバー付，補助カバー付		7・8段目
	フラップカバー無し，補助カバー無し		１段目
	ロータリを着脱する場合		７段目

G-3265

注意

● 水田（湿田）で，トラクタの性能を十分発揮させるため，後2輪はロータリカバーに接触しない範囲で，接近させて使用してください。

G-3662

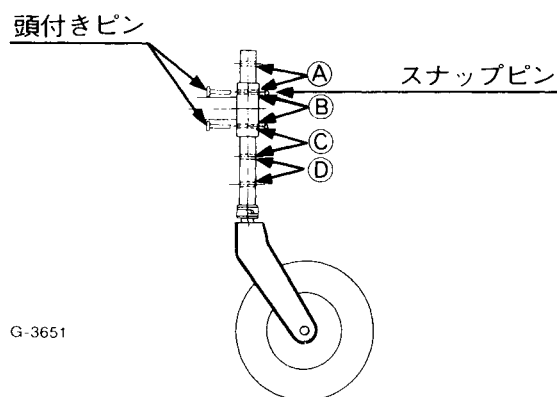
■上下調整

(1)一般耕うんの場合
　ピンをⒹの穴に，取付けてください。

(2)代かき・湿田耕うんの場合
　ピンをⒶの穴に，取付けてください。

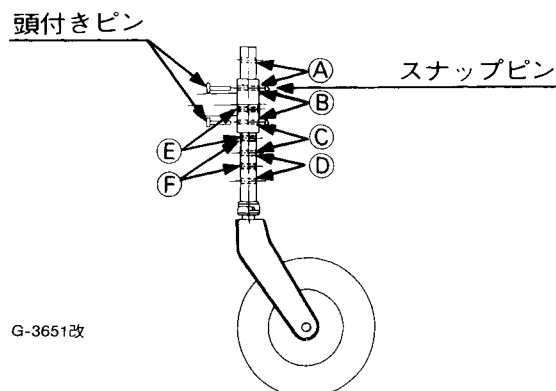
(3)必要に応じてⒷⒸの穴に，取付けできます。

(4)ピンは必ず前方から挿入してください。カバーと接触して，スナップピンが抜ける恐れがあります。

(5)ロータリを着脱する場合はⒷの穴に取付けてください。
　（ロングカット爪(556号)を使用する場合は，Ⓐの位置にセットしてください。片培土器を使用するときはⒹの位置にセットしてください。581号，556号）

G-3651

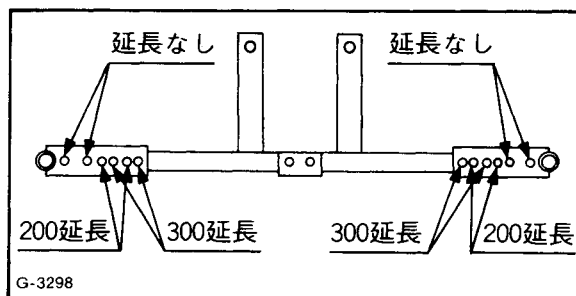
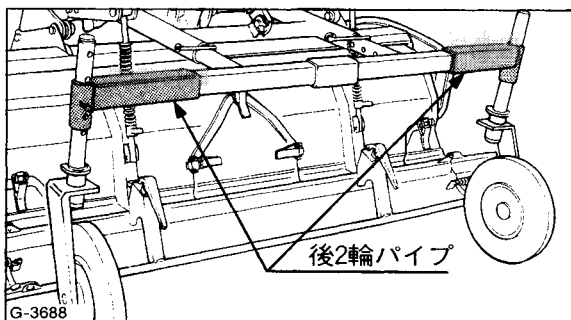
■回動位置の調整［R13HG］

(1)ハウス内耕うん（直進耕うんのみ）の場合
　（旋回時にロータリを持ち上げた場合の後２輪の外開き防止用）
　ピンをⒺまたはⒻの穴にセットしてください。

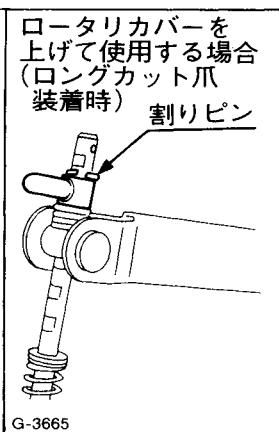
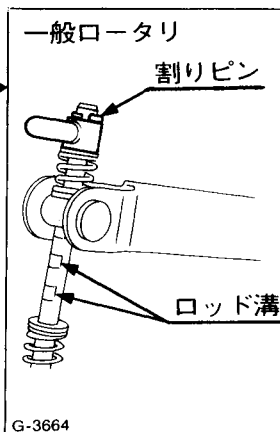
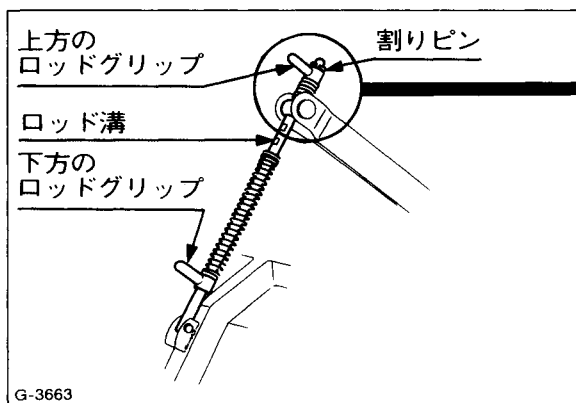
(2)一般，代かき，湿田耕うん等の場合
　上記，上下調整要領に従いⒶⒷⒸⒹのいずれかの穴にセットしてください。

G-3651改

■左右調整

延長爪軸(200㎜または300㎜)を取付けたときは，それぞれ耕幅に合せて，後２輪を外側に移動させてください。

参考：R12Gは300㎜延長付，R13Gは200㎜延長付です。

ロッドの調整

◆上方のロッドグリップの位置

上方のロッドグリップは通常割りピンのすぐ下のロッド溝にセットしてください。特殊な作業，爪の交換等，カバーを持上げて使用する場合は条件に合わせてロッド溝をお選びください。

◆下方のロッドグリップの位置

下方のロッドグリップは接地圧条件に合わせてロッド溝をお選びください。(下から１番目，２番目，３番目…と取付け位置を上方に上げるにつれ押付力は強くなります。)

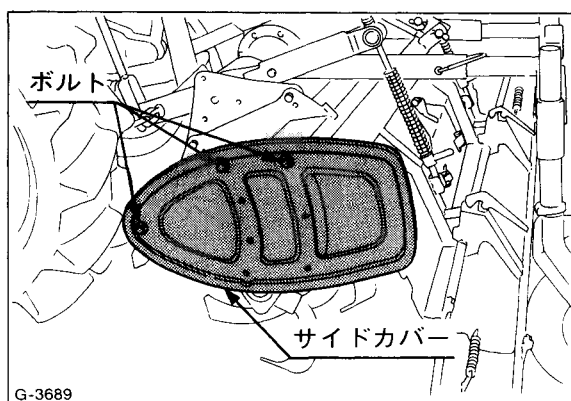
●押付力を強くしますと，均平，整地に効果があります。

安全ポイント

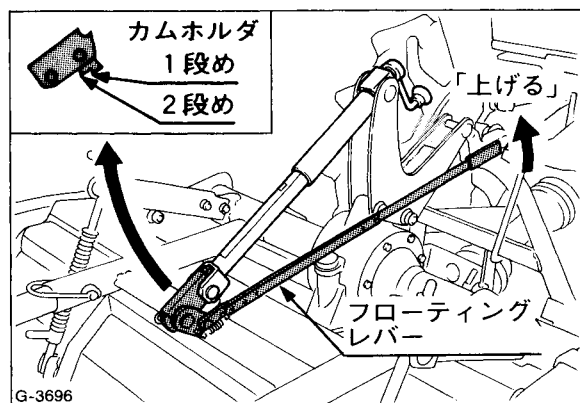
(1)ロッドグリップの位置換えは，必ずロータリを地上に降ろし，メインスイッチを「OFF」にして，エンジンを停止してから行なってください。
(ロータリを上げた状態での調節は危険です。)

(2)MA仕様トラクタに装着した場合，ロッドグリップを間違った位置にセットすると，ロータリが下降しないことがありますので，注意してください。

サイドカバーの調整

石の多いほ場・草地で作業を行なう場合は，左右のサイドカバーを上に上げて使用してください。

フローティング装置(別売オプション)

後2輪フローティング機構は，簡単な取扱いであぜぎわまで耕うんできる機構です。
次の取扱い要領に従って，正しく使用してください。

❶フローティングレバーを上方に押し上げ，レバーがカムホルダに引掛かるようにします。

注意

● フローティングレバーを上げて，カムホルダに引掛けるとき，引掛かり位置によって，フローティング機構が作用しない場合がありますので，次のように使い分けてください。

浅い耕うんの場合 (耕深目盛り4以下)	1段めで 作用します
普通耕うんの場合 (耕深目盛り4以上)	2段めで 作用します

一般に，普通耕うん状態では，フローティングレバーを2段めに引掛かるまで上げないと，フローティング機構は作用しません。

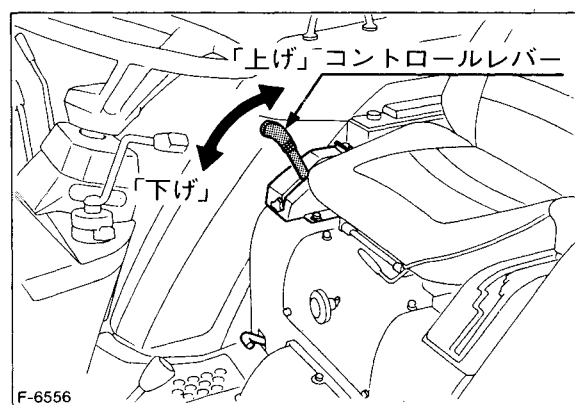
❷後2輪があぜの上に乗るように，トラクタをバックさせます。

❸コントロールレバーを操作して，ロータリを下げます。

❹このとき後2輪は，フローティング状態ですから，ポジションコントロールで，あらかじめ耕深を定めておき，その位置までコントロールレバーを下げて，耕うんを始めてください。

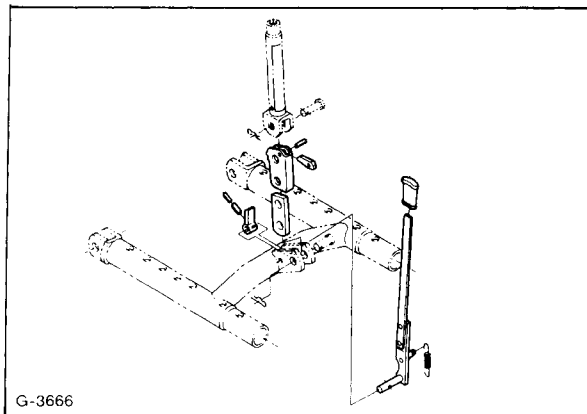
❺後2輪があぜから，ほ場に降りるまで耕うんし，ほ場に降りたとき停止します。

❻コントロールレバーを「上げ」にすると，フローティング状態から固定状態に，自動的に切換わります。

❼次にコントロールレバーを「下げ」にすると，標準耕うん状態になり，今まで後2輪で定められていた所定の耕深になりますので，続けて耕うんしてください。

安全ポイント

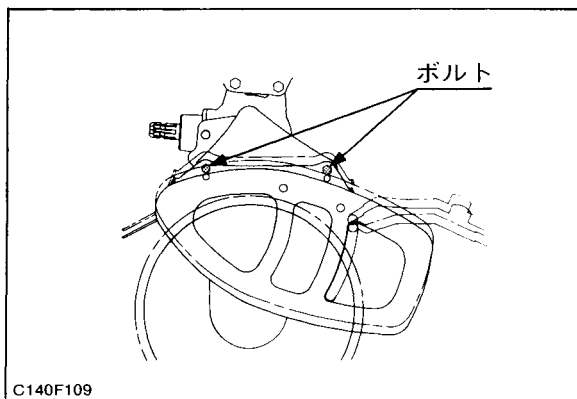
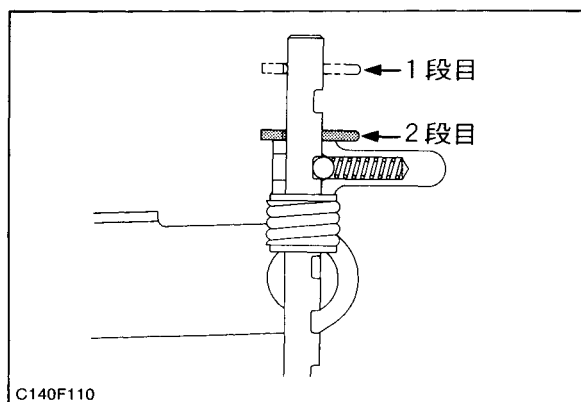
● ロータリをトラクタから取外し，ロータリ単体保管する場合，フローティングレバーを上方にあげると，急にロータリの姿勢が変化し，不安定な状態になりますので，ロータリを単体保管する場合は，絶対にフローティングレバーを操作しないでください。

▶もし怠ると………

傷害事故を引起すことがあります。

フローティング部品アッシ
品番(70155-9911-1)

ロングカット爪の取付け(別売オプション)

耕うん爪をロングカット爪に交換すれば，中深耕が行なえます。(爪の回転半径が約25mm大きくなります。)

(1)ロータリカバー(1)のボデーとの取付けボルト(4本)の位置を変更し，ロータリカバーを上げてください。

(2)ロッド上部の割りピンを上から2番目の穴に変更してください。

(3)耕うん爪をロングカット爪に交換してください。

556号 ロングカット爪(1本)	R	99052-5911-1
	L	99052-5912-1
549号 ロングカット変形爪(1本)	R	99052-5917-1
	L	99052-5918-1

●標準爪に戻す場合は，取付け順序の逆に行なってください。

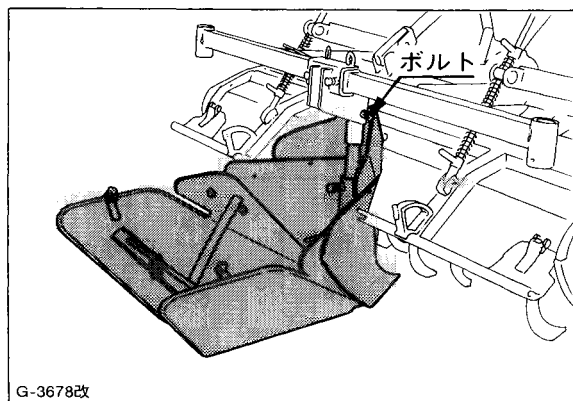
注意

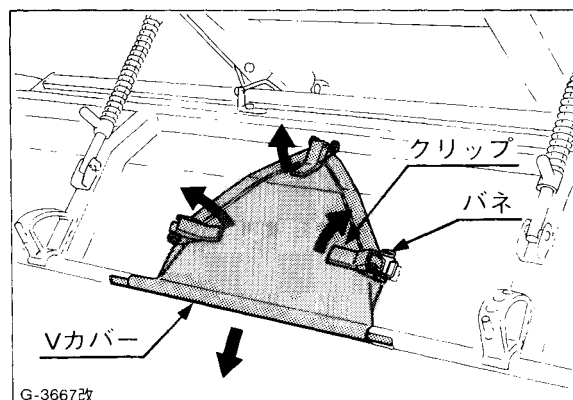
●**ロータリカバーの取付け位置が標準時(ロータリカバーが下がっている状態)では，ロングカット爪は使用しないでください。**

畝立機の取付け

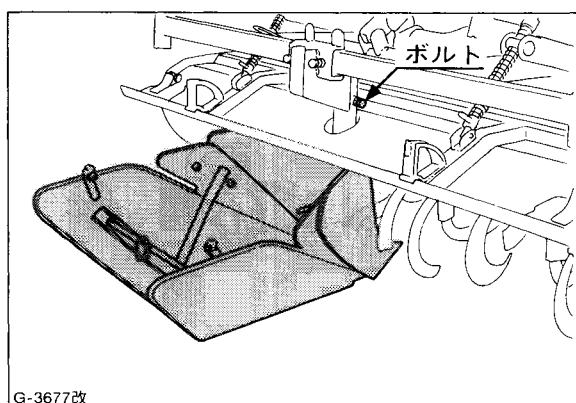
畝立機は，畝立て金具の穴に下から差込み，作業状態に応じて取付け高さを変え，ボルトで取付けてください。(畝立機と畝立て金具は別途購入品。)

■STVカバーの場合

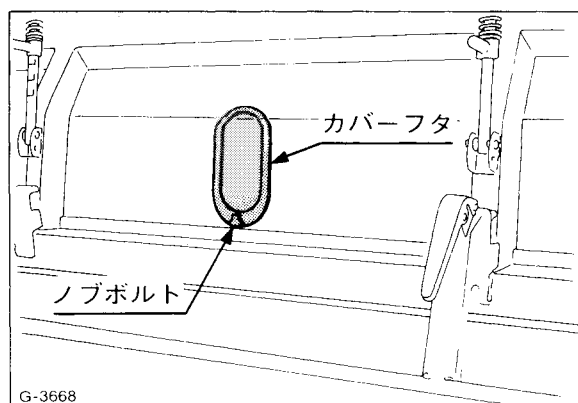
❶爪の配列は2つ盛り耕法の配列にします。(10ページ参照)
❷後2輪は取外します。
❸後2輪ホルダは，前後調整の2段目又は3段目の位置にしてください。(13ページ参照)
❹フラップカバーを取外します。(11ページ参照)
❺Vカットカバーを取外します。
❻畝立機に畝立金具をボルトで取付けます。
❼畝立金具を後2輪ホルダにピンでセットしてください。
❽後部カバー押えバネを，フリーにするか又は少し縮めて，後部カバーを軽く地面に接触させてください。

◆Vカバーの取外し方

❶クリップを引上げ，Vカバーを取付けているバネを，ロータリカバー2のかけ金具から取外します。
❷Vカバーを下方向に動かして取外します。
●取付けは逆の順序で行なってください。
クリップは確実にロックしてください。

■STカバーの場合

❶爪の配列は２つ盛り耕法の配列にします。(10ページ参照)
❷後２輪は取外します。
❸後２輪ホルダは，前後調整の１段目(１番縮めた状態)にしてください。(13ページ参照)
❹フラップカバーを取外します。(11ページ参照)
❺後部カバーのカバーフタを取外します。
❻後２輪ホルダに畝立金具をピンでセットします。
❼ロータリカバーを上げます。
❽後部カバーの下側から畝立機を畝立金具に取付け，ボルトで締付けてください。

G-3677改

◆カバーフタの取外し方

ノブボルトを取り，取外してください。

G-3668

逆転PTOの使用方法

トラクタの逆転PTOを使用して次の作業が行なえます。

(1)爪軸の巻付き草を除去する。

耕うん中に草などが巻付いて，耕深が取れなくなった場合，ロータリを持上げて，逆転で数分空転させると，草の巻付きがゆるみ取りやすくなります。

(2)軟弱地での土寄せ作業。

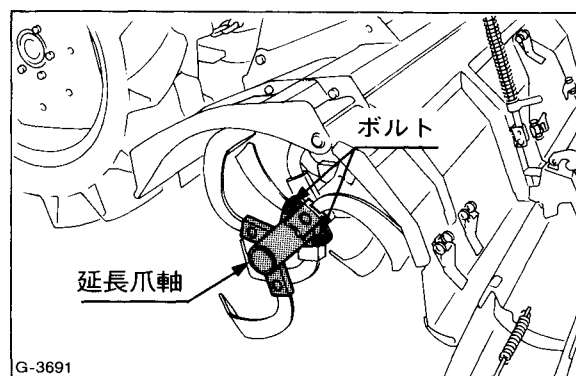
代かき作業などを行なう軟弱なほ場に，泥などが盛上がった場合，逆転PTOを使用して土寄せを行なうと，効果があります。

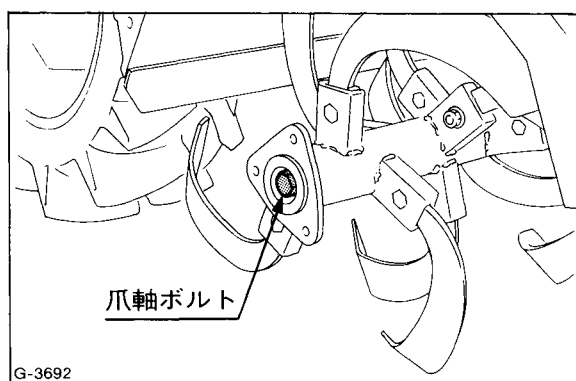
注意

- **逆転PTOを使用して，次の作業は絶対に行なわないでください。ロータリ破損の原因になります。**
  (1)逆転耕うん作業
  (2)一般ほ場での土寄せ作業

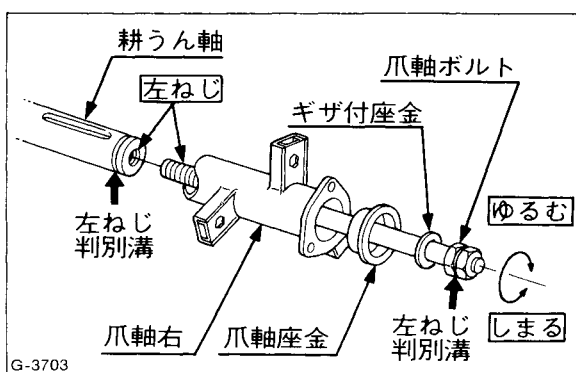
爪軸交換のしかた

❶延長爪軸付ロータリは，延長爪軸を取外してください。(左右各３本)

G-3691

❷爪軸ボルト(左右各１本)を外して，標準爪軸から，交換爪軸に取換えてください。

G-3692

注意

- **右側の爪軸ボルトは左ねじです。**

G-3703

作業前の点検について(仕業点検)

点検箇所

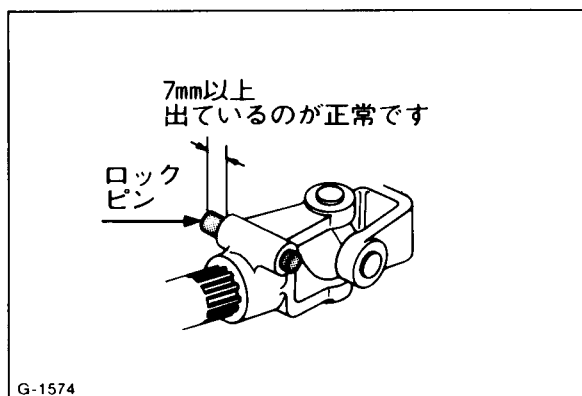
故障を未然に防ぐには，機械の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
仕業点検は毎日欠かさず行なってください。
※印は，別途作業要領が説明してあります。

■点検は次の順序で実施してください。

(1)前日の異常箇所。
(2)ロータリの点検ポイント。
- ●爪及び爪軸取付けボルトのゆるみ
- ●ロータリ各部のボルト・ナットのゆるみ
- ●ユニバーサルジョイントのロックピンのロック状態の確認……………………※1
- ●油もれ

点検のしかた

1ユニバーサルジョイントのロックピンのロック状態の確認

ロックピンが正確に溝にはまったかどうかの確認は，ピンの頭が7㎜以上出ているかどうかを調べてください。

ロータリの簡単な手入れと処置

定期点検箇所一覧表

次の定期点検表に従って，必ず定期点検を実施してください。

安全ポイント

●点検整備をするときは，❶トラクタを平たんな広い場所に置き，❷エンジンを止め，駐車ブレーキをかけ，❸ロータリの落下を防止する落下調整グリップを締込んで，❹更に爪軸の下に木の台などをし，❺安全を確認してから行なってください。

▶もし怠ると………

傷害事故を引起すことがあります。

No.	点検項目		アワーメータの表示時間						参照ページ
			50	100	150	200	250	300	
1	ロータリケース	油量点検		○	○	○	○		20
		オイル交換	◎					○	
2	グリースの補給 •後2輪 •ユニバーサルジョイント •アジャスタ(後2輪調整ネジ部) •ホルダ(ジョイント)，ロータリ入力軸(スーパージョイント)		○	○	○	○	○	○	20, 21

【注】◎印は，ならし運転時の50時間使用後に，必ず行なってください。

各部の油量点検と交換

使用するギヤーオイルは，必ず「**クボタ純オイル**」を使用してください。(26ページ参照)

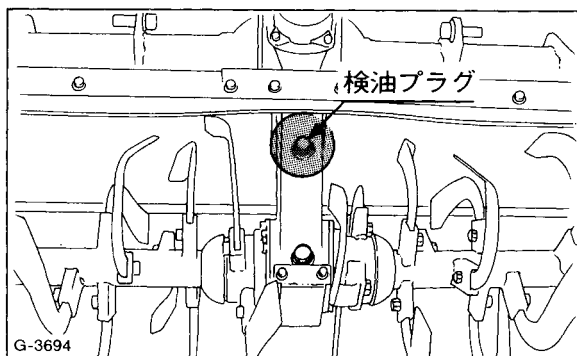
注意

- 点検するときは，ロータリをトラクタに装着したまま，水平な地面に置いて行なってください。傾いていると正確な量を示さないことがあります。

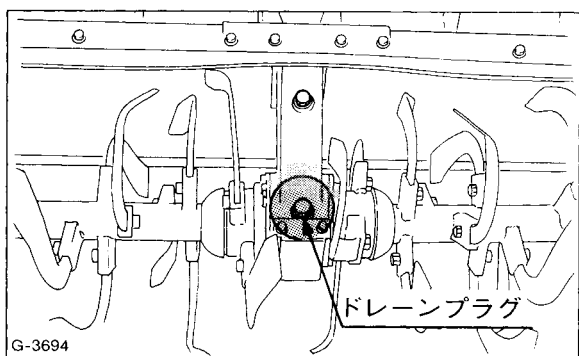
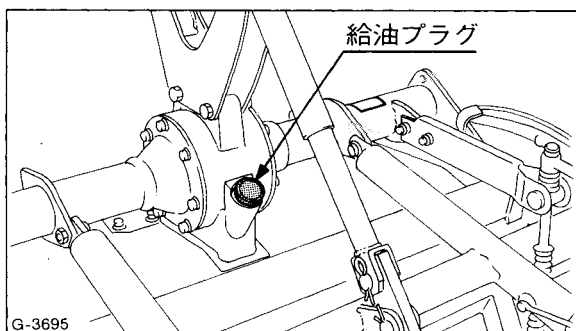
■ロータリケース

◆油量点検のしかた

❶ロータリを降ろして，検油プラグを外し，検油口までオイルがあるか調べます。

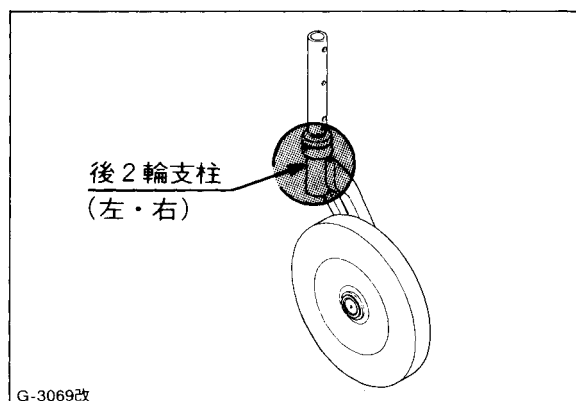
❷検油口以下の場合は補給しますが，検油口以上には入れないでください。

◆交換のしかた(2.0ℓ)

❶ドレーンプラグを外してオイルを出します。
オイルが抜けたらドレーンプラグをしっかりと締付けてください。ゴム座金に変形や損傷がある場合は速やかに交換してください。

❷ギヤーオイルを給油口から,規定量入れてください。

グリースの補給

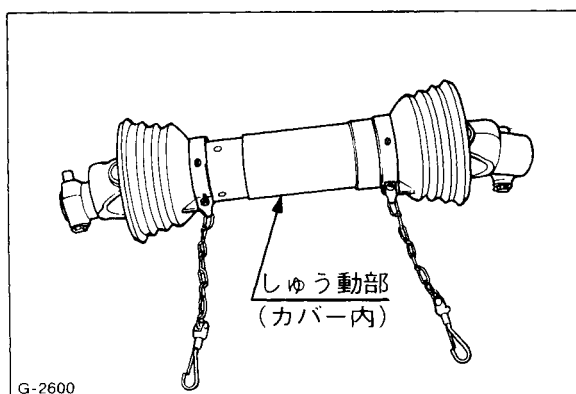
通常のグリースアップは，定期点検箇所一覧表に従って行なってください。ただし，代かき作業などで泥水に入ったときは，作業終了後必ずグリースアップをしておきましょう。
グリースは，「**クボタ推奨グリース**」を使用してください。(26ページ参照)

■後２輪(２ヵ所)

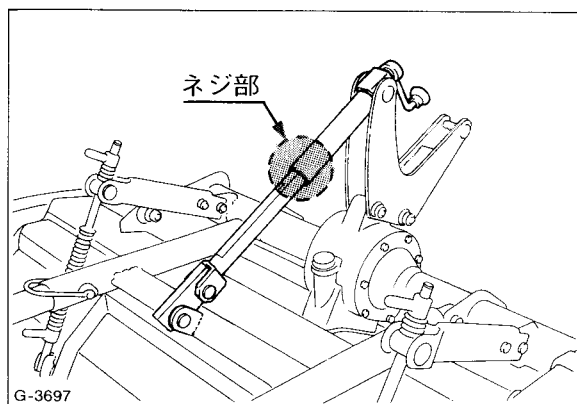
シャーシグリースを適量補給します。

■ユニバーサルジョイント

しゅう動部は，ジョイントのオス・メス部を切離して補給してください。

注意

- PTO軸・ロータリ側の軸にも，薄く塗布してください。

■アジャスタ(後2輪調整ネジ部)

シャーシグリースを適量補給します。
(アジャスタと調整ネジを切離して,ネジ部にグリースを塗布します。)

G-3697

■ホルダ(ジョイント),ロータリ入力軸（スーパージョイント付）

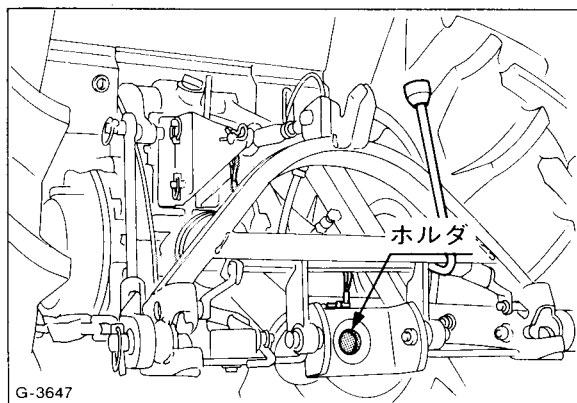
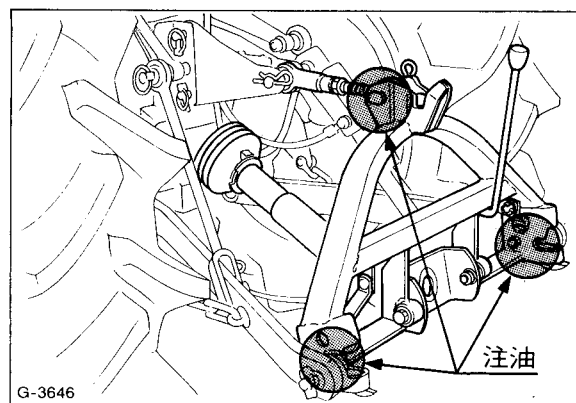
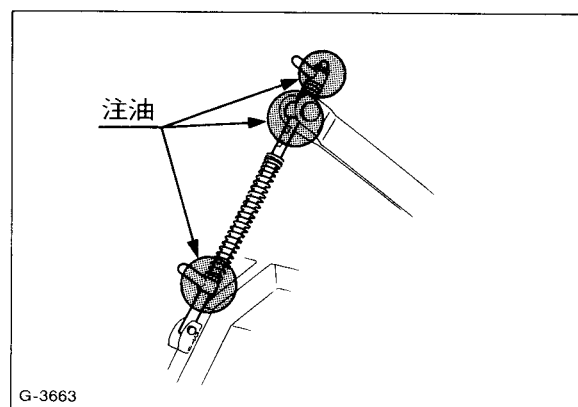
❶湿田耕うんや代かき作業後は,必ずロータリを切離し,ホルダ(ジョイント)内とロータリ入力軸の,泥をきれいに水で洗い流し,下図箇所にグリースを適量塗布してください。
❷定期的にロータリを切離し,ホルダ(ジョイント)とロータリ入力軸の,下図の箇所にグリースを適量塗布してください。

G-3647

■Aフレーム各回動部

G-3646

■ロッドグリップ部

G-3663

シールの組換え

整備などの目的でロータリケース(チェーンケース)等を分解される場合は,必ず新しいオイルシール,ゴムキャップ,ゴム付座金,液状ガスケット等と交換してください。オイルもれの原因となります。
液状ガスケットはスリーボンド1208相当品を使用してください。

付表

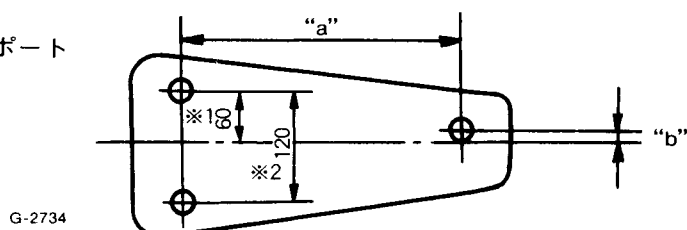
主要諸元

型式		R12G	R13(H)G	R15G	R16G
駆動方式		センタドライブ			
機体寸法	全長(mm)	1479			
	全幅(mm)	1580〔1280〕	1580〔1380〕	1580	1680
	全高(mm)	1155			
重量(kg)		257			264
適応トラクタ (PS)		GL19～GL25 (19～25)			GL25～GL33 (25～33)
装着装置の種類		特殊3点リンク			
標準耕幅(cm)		149〔119〕	149〔129〕	149	159
標準耕深(cm)		～18			
標準作業速度(km/h)		0.5～4.5			
入力軸回転数(rpm)		556～1400			
変速の有無		無			
耕うん軸回転数(rpm)	GL19	158，224，274，363			
	GL21	165，233，285，378			
	GL23	158，224，274，363			
	GL23DJ	152，214，263，348			
	GL25(K)，GL26	165，233，285，378			
	GL27(DJ)	158，223，273，362			
	GL29，GL33	164，232，284，376			
	GL32	170，240，295，390			
耕うん爪取付方法		ホルダタイプ			
耕うん爪の種類と本数		544号変形爪 R・L各1本 581号なた爪 R・L各17本	544号変形爪R・L各1本 581号なた爪R・L各18本		544号変形爪 R・L各1本 581号なた爪 R・L各19本
耕うん爪の外径(cm)		50			
耕深調節機構		後方双尾輪式，モンローマチックオート式(モンローマチックオート付の場合)			
耕うん作業能率(分/10a)		12～107			11～101
備考		延長爪軸付		——	——

〔　〕内は延長部を取外した寸法

標準付属品

品名	数量
納入品安全説明書	1
取扱説明書	1
保証書	1

使用補助ユニット一覧表

ト ラ ク タ	補助ユニット	トップリンクサポート品番	"a"寸法（mm）	"b"寸法（mm）
GL19, GL21, GL23	U195Q-6RF U195-6RF	70888-5141-1	220	−20
GL25K	U255KQ-6RF U255K-6RF	70888-5741-1	250	20
GL23DJ, GL25, GL26, GL27	U255Q-6RF U255-6RF	70888-5341-1	245	−20
GL27DJ, GL29, GL32, GL33	U295Q-6RF U295-6RF	70888-5541-1	320	−25
L_1-195, L_1-215 L_1-215DH L_1-235, L_1-255	U195Q-5RF U195-5RF	70862-5885-2	259.5	0
L_1-235DJ	U235J-5RF U235JQ-5RF			
L_1-275	U275Q-5RF U275-5RF	70864-5885-2	300	0
L_1-275DJ, L_1-295 L_1-315, L_1-325	U295Q-5RF U295-5RF	70866-5885-2	290	−25
L_1-325MA	U325Q-5RF U325-5RF	70868-5885-1	262	−48
L_1-235Dハウス	U235H-5R	70882-5821-1	206	0
L_1-235DK, L_1-275DK	U235K-5RF	70883-5841-1	245	130
L_1-185, L_1-205	U18-4RF	70834-5841-2	259.5	0
L_1-225, L_1-245	U22-4RF	70834-5841-2		
L_1-225Dハウス	U22H-3R	70825-5821-3	206	0
L_1-225DK	U22K-4RF	70859-5841-1	238	115.5
L_1-265	U26-4RF	70835-5841-2	300	0
L_1-285	U28-4RF	70858-5841-1	290	−25
L_1-18, L_1-20	U18-3RF	70827-5841-3	246	0
L_1-22, L_1-24	U22-3RF	70837-5841-2	240	−15
L_1-26	U26-3RF	70838-5841-2	282	−15
L_1-28	U28-3RF	70846-5841-2	275	−25
L1802M, L2002M	U1802M-2RF	70822-5841-2	225	30
L1802, L2002	U1802-2RF	70802-5841-2		
L2202M	U2202M-2RF	70823-5841-2	277	20
L2202	U2202-2RF	70803-5841-2		
L2402M	U2402M-2RF	70824-5841-2	259.5	0
L2402	U2402-2RF	70804-5841-1		
L2602M	U2602M-2RF	70814-5841-4	300	0
L2602	U2602-2RF	70814-5841-1		

アタッチメント一覧表

分類	品番	品名	用途・仕様	併用アタッチメント	適応形式																
					R12G		R13G		R13HG	R15G						R16G					
					ST・W	STV・W	ST・W2	STV・W2	ST・W2	ST	ST・W	ST・W2	STV	STV・W	STV・W2	ST	ST・W	ST・W2	STV	STV・W	STV・W2
耕うん	99772-4910-1	なた爪セット	581号R･L各17本 544号R･L各１本	爪取付け部品1 36個必要	○	○															
	99032-4910-1	なた爪セット	581号R･L各18本 544号R･L各１本	爪取付け部品1 38個必要			○	○	○	○			○								
	99722-4910-1	なた爪セット	581号R･L各19本 544号R･L各１本	爪取付け部品1 40個必要												○			○		
			上記のセットに 581号R･L各3本追加								○	○		○	○		○	○		○	○
	99052-5911-1	556号ロングカット爪R(単品)	爪回転半径 275mm	——	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99052-5912-1	556号ロングカット爪L(単品)	爪回転半径 275mm	——	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99052-5917-1	549号ロングカット変形爪R(単品)	爪回転半径 275mm	——	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99052-5918-1	549号ロングカット変形爪L(単品)	爪回転半径 275mm	——	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99032-5801-1	589号なた爪R(単品)	581号なた爪の反転性向上爪	——	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99032-5802-1	589号なた爪L(単品)	581号なた爪の反転性向上爪	——	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	70461-5555-1	爪取付け部品１	ボルト・ナット バネ座金各１個	——	○ 36	○ 36	○ 38	○ 38	○ 38	○ 38	○ 44	○ 44	○ 38	○ 44	○ 44	○ 40	○ 46	○ 46	○ 40	○ 46	○ 46
	99062-5500-1	200延長爪軸アッシ	左右各10cm延長	——	※○	※○				○	※○		○	※○		○	※○		○	※○	
	99062-5600-1	300延長爪軸アッシ	左右各15cm延長	——						○		※○	○		※○	○		※○	○		※○
整地	99762-4270-1	代かきセット3	•本体整地幅 165cm •延長各60cm付	前部ウエイトアッシ(99221-1200-1)28kg	○	○	○	○	○	○			○			○			○		
	99772-4270-1	代かきセット4	•本体整地幅 185cm •延長各60cm付	前部ウエイトアッシ(99221-1200-1)28kg							○	○		○	○		○	○		○	○
	99772-4470-1	延長代かき整地板	•延長幅 左右各20cm	代かきセット3･4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
畝立て	99512-7370-1	40号培土機	•２連畝立機 溝幅12cm	２連畝立て金具 前部ウエイトアッシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99772-1570-1	２連畝立て金具	——	40号培土機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99062-7100-1	片培土器2アッシ	•溝幅16cm	前部ウエイトアッシ							○	○		○	○		○	○		○	○
	99012-7100-1	片培土器1アッシ	•溝幅16cm	前部ウエイトアッシ	○	○	○	○	○	○			○			○			○		

※印は付属の延長部の交換用です。
○印下の数字は１台分のセット個数です。
• W………300mm延長　　• W_2………200mm延長

分類	品番	品名	用途・仕様	併用アタッチメント	適応形式																
					R12G		R13G		R13HGST・W_2	R15G						R16G					
					ST・W	STV・W	ST・W_2	STV・W_2		ST	ST・W	ST・W_2	STV	STV・W	STV・W_2	ST	ST・W	ST・W_2	STV	STV・W	STV・W_2
畝立て	99042 -1370-1	4号 畝立機(03)	• 溝幅 12cm • 底板 無 • 羽根長さ 85.4cm	7号畝立て金具 前部ウエイトアッシ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99042 -1470-1	5号 畝立機(03)	• 溝幅 15cm • 底板 無 • 羽根長さ 86.5cm		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99042 -1170-1	7号 畝立機(03)	• 溝幅 21cm • 底板 無 • 羽根長さ 92cm		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99022 -1370-1	Vカット4号 畝立機(03)	• 溝幅 12cm • 底板 無 • 羽根長さ 85.4cm	Vカット用 畝立て金具アッシ 7号畝立て金具 前部ウエイトアッシ		○		○					○	○	○				○	○	○
	99022 -1470-1	Vカット5号 畝立機(03)	• 溝幅 15cm • 底板 無 • 羽根長さ 86.5cm			○		○					○	○	○				○	○	○
	99022 -1170-1	Vカット7号 畝立機(03)	• 溝幅 21cm • 底板 無 • 羽根長さ 92cm			○		○					○	○	○				○	○	○
	99042 -1770-1	7号畝立て 金具(03)	——	上記畝立機	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	99052 -1700-1	Vカット用 畝立て反転金具	——			○		○					○	○	○				○	○	○

• W………300mm延長　　• W_2………200mm延長

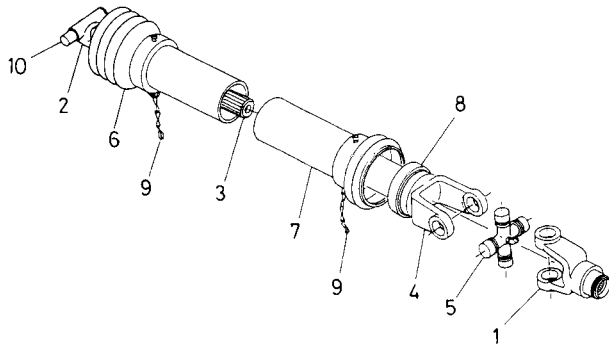
推奨オイル・グリース一覧表

■ギヤーオイル90番

メーカ	ギヤーオイル
日本石油	クボタ純オイル(ミッション用)M90
コスモ石油	クボタ純オイル(ミッション用)M90
共同石油	クボタ純オイル(ミッション用)M90
昭和シェル石油	クボタ純オイル(ミッション用)M90

■グリース

メーカ	シャーシグリース	ホイールベアリンググリース
日本石油	エピノックグリースAP-No.2	PAN WBグリース
コスモ石油	ダイナマックスEPNo.2	ロードマスターNo.2
共同石油	リゾニックスグリースEPNo.2	リゾニックスグリースNo.2
昭和シェル石油	レチナックスCD	サンライトグリースNo.2
モービル石油	プレックス47	モービルグリースJL
エッソ石油	シャーシグリースL	リスタンWB2
出光興産	シャーシグリース	アポロイルオートレックスA
三菱石油	シャーシグリースNo.2	ホイルベアリングHDグリースNo. 2
ゼネラル石油	シャーシグリースNo.2	WBグリースNo. 2
キグナス石油	シャーシグリースNo.2	MPグリースNo. 2

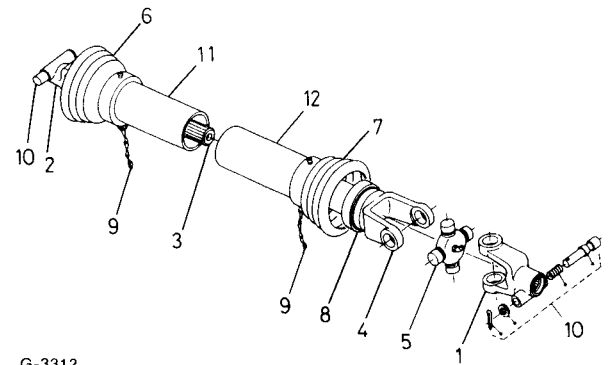
主な消耗部品一覧表

U195Q-6RF(GL19, 21, 23)

図番	品　　名	品　番	個数
⦿	ユニバーサルジョイントアッシ	70888-5221-1	1
1	ヨーク(2)	70888-5223-1	1
2	ヨーク	70857-5813-1	1
3	シャフトヨーク	70862-5812-2	1
4	ヨークスリーブ	70857-5814-2	1
5	スパイダアッシ	70531-5225-1	2
6	セーフティカバー(SS)	70862-5813-1	1
7	カバー(セーフティ, LSS)	70888-5229-1	1
8	スライドリング	70857-5828-1	2
9	チェーンアッシ	70815-5822-1	2
10	ロックピンアッシ	70678-5822-1	1

U255Q-6RF(GL23DJ, 25, 26, 27)
U295Q-6RF(GL27DJ, 29, 32, 33)

図番	品　　名	品　番	個数
⦿	ユニバーサルジョイントアッシ	70888-5421-1	1
1	ヨーク(2)	70888-5223-1	1
2	ヨーク	70837-5825-1	1
3	シャフトヨーク	70871-4312-1	1
4	スリーブヨーク	70857-5822-2	1
5	スパイダアッシ	70531-5225-1	2
6	セーフティカバーSS	70871-4313-1	1
7	カバー(セーフティ, LSS)	70888-5429-1	1
8	スライドリング	70857-5828-1	2
9	チェーンアッシ	70815-5822-1	2
10	ロックピンアッシ	70678-5822-1	1

U255KQ-6RF(GL25K)

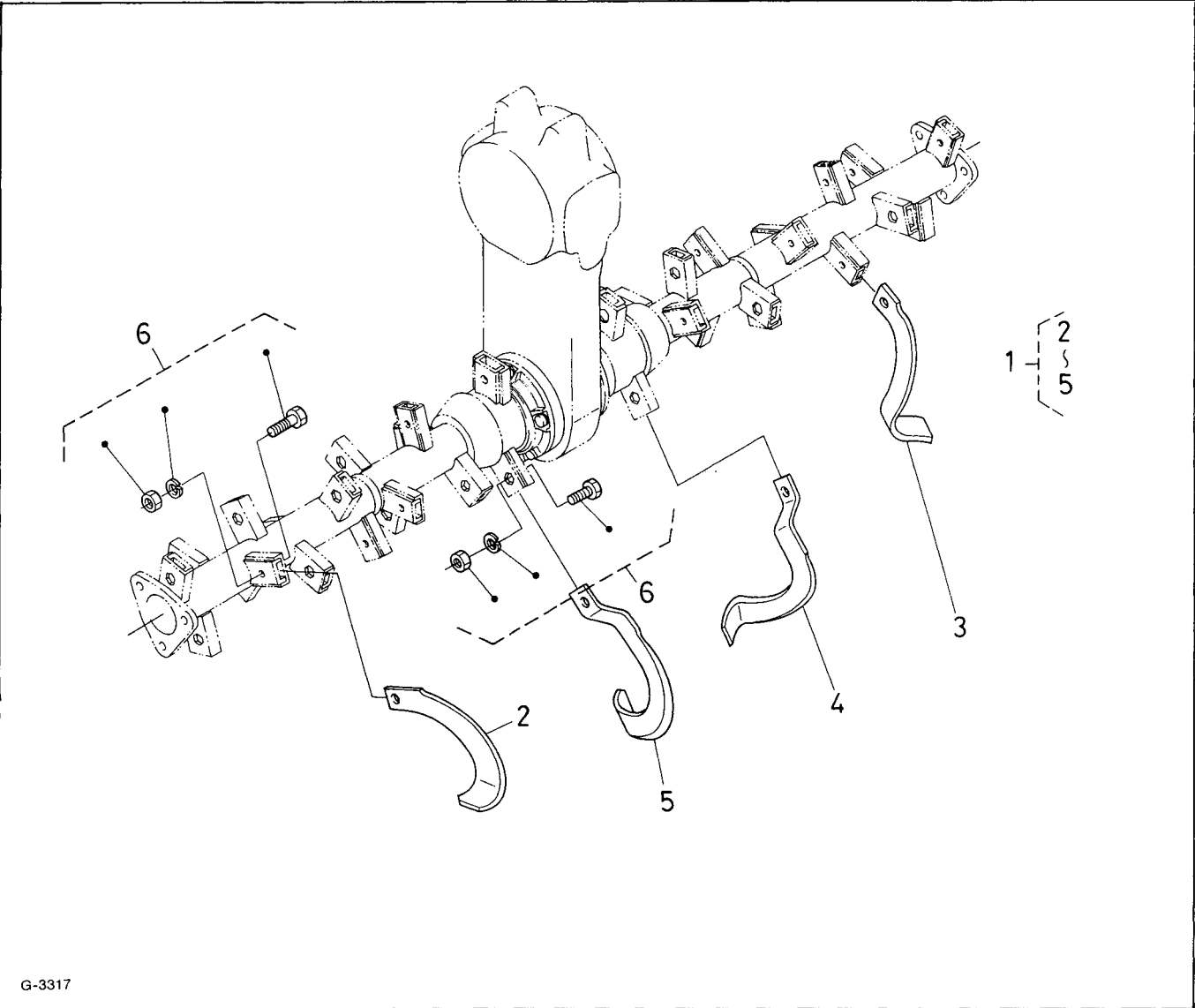
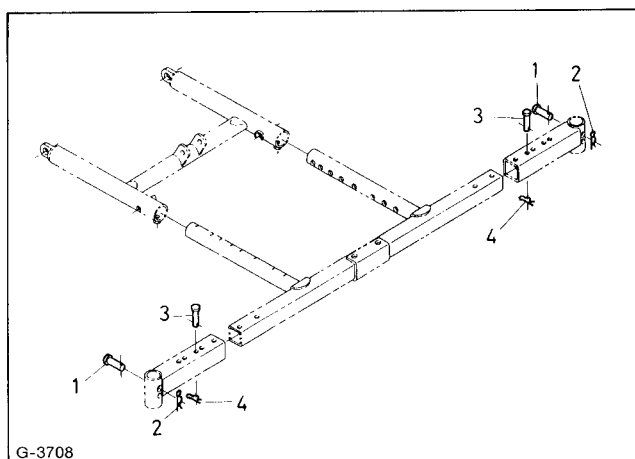
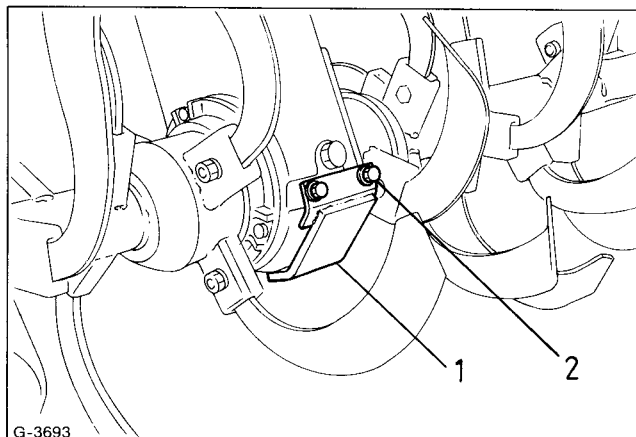
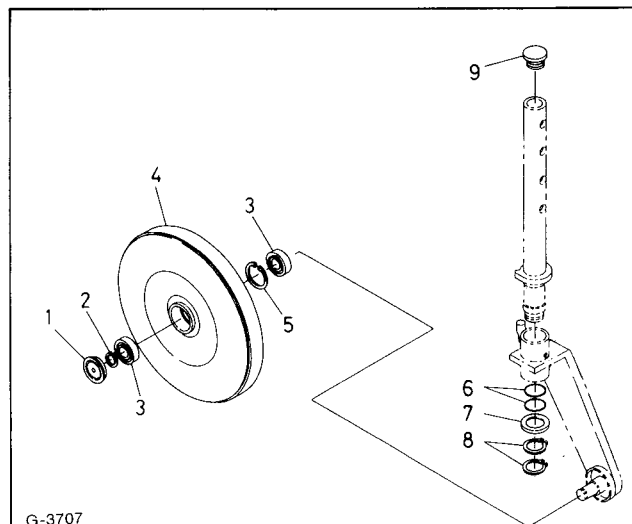
図番	品　　名	品　番	個数
⦿	ユニバーサルジョイントアッシ	70888-5821-1	1
1	ヨーク(2)	70888-5223-1	1
2	ヨーク	70857-5813-1	1
3	シャフトヨーク	70888-5822-1	1
4	ヨークスリーブ	70888-5814-1	1
5	スパイダアッシ	70531-5225-1	2
6	プロテクティブカバーS	70888-5823-1	1
7	カバー(セーフティ, LSS)	70888-5829-1	1
8	スライドリング	70857-5828-1	2
9	チェーンアッシ	70815-5822-1	2
10	ロックピンアッシ	70678-5822-1	1

U195-6RF(GL19, 21, 23)

図番	品　　名	品　番	個数
⦿	ユニバーサルジョイントアッシ	70886-5811-2	1
1	ヨーク	70857-5813-1	1
2	ヨーク	70857-5812-1	1
3	シャフトヨーク	70886-5821-2	1
4	ヨークスリーブ	70857-5814-2	1
5	スパイダアッシ	70531-5225-1	2
6, 11	プロテクティブカバーS	70886-5823-1	1
7, 12	プロテクティブカバーL	70886-5824-1	1
8	スライドリング	70857-5828-1	2
9	チェーンアッシ	70815-5822-1	2
10	ロックピンアッシ	70678-5822-1	2

U255-6RF(GL23DJ, 25, 26, 27)
U295-6RF(GL27DJ, 29, 32, 33)

図番	品　　名	品　番	個数
⦿	ユニバーサルジョイントアッシ	70867-5811-2	1
1	ヨーク	70857-5813-1	1
2	ヨーク	70857-5812-1	1
3	ヨークシャフト	70867-5812-2	1
4	ヨークスリーブ	70857-5814-2	1
5	スパイダアッシ	70531-5225-1	2
6, 11	プロテクティブカバーS	70857-5823-1	1
7, 12	プロテクティブカバーL	70857-5824-1	1
8	スライドリング	70857-5828-1	2
9	チェーンアッシ	70815-5822-1	2
10	ロックピンアッシ	70678-5822-1	2

U255K-6RF(GL25K)

図番	品　　名	品　番	個数
⦿	ユニバーサルジョイントアッシ	70853-5811-1	1
1	ヨーク2	70836-5827-1	1
2	ヨーク1	70836-5826-1	1
3	ジョイント1	70853-5824-1	1
4	ジョイント2	70853-5825-1	1
5	スパイダアッシ	70411-5210-1	2
6, 7	ブーツ	70416-5812-1	2
8	ベアリング	70416-5815-1	2
9	クサリアッシ	70416-5816-3	2
10	ロックピンアッシ	70415-5225-3	2
11	カバー1	70853-5822-1	1
12	カバー2	70853-5823-1	1

図番	品　　名	品　　番	数　量				備　　考
			R12G	R13(H)G	R15G	R16G	
1	なた爪セット	99772-4910-1	1	—	—	—	②～⑤
1	なた爪セット	99032-4910-1	—	1	1	—	②～⑤
1	なた爪セット	99722-4910-1	—	—	—	1	②～⑤
2	581号なた爪右	70451-5541-5	17	18	18	19	
3	581号なた爪左	70451-5542-5	17	18	18	19	
4	544号変形爪右	70325-5587-1	1	1	1	1	
5	544号変形爪左	70325-5588-1	1	1	1	1	
6	爪取付け部品1	70461-5555-1	36	38	38	40	

図番	品　　名	品　番	個数
1	頭付きピン	05122-51070	4
2	スナップピン	70404-5618-3	4
3	頭付きピン	05122-51060	2
4	スナップピン	70404-5618-3	2

図番	品　　名	品　番	個数
1	プロテクタ	70186-5551-1	1
2	ボルト	01133-51016	2

図番	品　　名	品　番	個数
1	キャップ	70451-5746-1	1
2	軸サークリップ	04612-10200	1
3	ボールベアリング	08131-06004	2
4	後２輪	70155-5744-1	1
5	穴サークリップ	04611-10420	1
6	Oリング	04811-50300	2
7	カバー(サークリップ)	70155-5745-2	1
8	軸サークリップ	04612-00340	2
9	キャップ	70155-5749-1	1

70186-5991-3最終頁

補修用部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後12年といたします。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買い求めください。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。

純正アタッチメントを使いましょう

純正アタッチメントは、一番よくマッチするように研究され、徹底した品質管理のもとで生産・出荷していますので、安心して使っていただけます。
市販類似品をお使いになりますと、作業能率の低下や機械の寿命を短くする原因になります。

R12G～16G
X．⊙．8－10．8．AK

株式会社クボタ

本　　　　　社	大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号	〒556	電(06)	648-2111
東　京　本　社	東京都中央区日本橋室町3丁目1番3号	〒103	電(03)	3245-3111
北海道支社	札幌市中央区北3条西3丁目1番地44(札幌富士ビル)	〒060	電(011)	214-3111
東　北　支　社	仙台市青葉区本町2丁目15番11号	〒980	電(022)	267-9000
中　部　支　社	名古屋市中村区名駅3丁目22番8号(大東海ビル)	〒450	電(052)	564-5111
九　州　支　社	福岡市博多区博多駅前3丁目2番8号(住友生命博多ビル)	〒812	電(092)	473-2401
札　幌　支　店	札幌市西区西町北16丁目1番1号	〒063	電(011)	662-2121
仙　台　支　店	名取市田高字原182番地の1	〒981-12	電(022)	384-5151
東　京　支　店	浦和市西堀5丁目2番36号	〒338	電(048)	862-1121
大　阪　支　店	大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号	〒556	電(06)	648-2111
岡　山　支　店	岡山市宍甘275番地	〒703	電(0862)	79-4511
福　岡　支　店	福岡市東区和白丘2丁目2番76号	〒811-02	電(092)	606-3161
堺　製　造　所	堺市石津北町64番地	〒590	電(0722)	41-1121
宇都宮工場	宇都宮市平出工業団地22番地2	〒321	電(0286)	61-1111
筑　波　工　場	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(029752)	5112
枚方製造所	枚方市中宮大池1丁目1番1号	〒573	電(0720)	40-1121
堺部品センター	堺市築港新町3丁8番	〒592	電(0722)	45-8601
宇都宮部品センター	宇都宮市平出工業団地38-16	〒321	電(0286)	63-6336
北海道部品センター	北海道札幌郡広島町字大曲186-37	〒061-12	電(011)	376-2335
筑波部品センター	茨城県筑波郡谷和原村字坂野新田10番地	〒300-22	電(029752)	2293
枚方部品センター	枚方市中宮大池1丁目1番1号	〒573	電(0720)	40-1797
株式会社クボタアグリ東北				
秋　田事業所	秋田市寺内字大小路207-54	〒011	電(0188)	45-1601
仙　台事業所	宮城県名取市田高字原182-1	〒981-12	電(022)	384-5151
株式会社クボタアグリ東京				
東　京事業所	浦和市西堀5-2-36	〒338	電(048)	862-1121
新　潟事業所	新潟市上所上1-14-15	〒950	電(025)	285-1261
株式会社クボタアグリ大阪				
金　沢事業所	石川県松任市下柏野町956-1	〒924	電(0762)	75-1121
名古屋事業所	愛知県一宮市観音町1-1	〒491	電(0586)	24-5111
大　阪事業所	大阪市浪速区敷津東1-2-47	〒556	電(06)	648-2111
株式会社クボタアグリ中四国				
米　子事業所	米子市米原7丁目1番1号	〒683	電(0859)	33-5011
岡　山事業所	岡山市宍甘275	〒703	電(0862)	79-4511
高　松事業所	香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-3	〒769-01	電(0878)	74-5091
株式会社クボタアグリ九州				
福　岡事業所	福岡市東区和白丘2-2-76	〒811-02	電(092)	606-3161
熊　本事業所	熊本県下益城郡富合町大字廻江846-1	〒861-41	電(096)	357-6181

品番 70186−5991−3